TÜVRheinland®
Genau. Richtig.

www.jpn.tuv.com

テュフ ラインランド ジャパン株式会社　サービスのご案内

テュフ ラインランド ジャパン株式会社

サービスのご案内

TÜVRheinland®
Genau. Richtig.

2013年1月、テュフ ラインランド発行の製品安全マーク、
システム認証マークが新しいデザインに変わりました

*新しいマークの詳細は8ページをご覧ください

目　次

はじめに **3**

適合性評価サービス **9**

CEマーキング 10
CB証明 12
テュフ ラインランドの認証マーク 13
GSマーク, TÜV-Bauartライセンス, GMマーク, エルゴノミクスマーク,
SEMI S2適合マーク, 機能安全マーク, EMCマーク, テレコムマーク
海外最新規制調査・情報提供サービス 17
国際認証マーク 18
日本：PSEマーク, Sマーク / 北米：cTUVusマーク /
アルゼンチン：Sマーク / ブラジル：INMETRO, ANATEL/ サウジアラビア・クウェート /
韓国：KCマーク, Sマーク, KCsマーク / 中国：CCC / メキシコ：NOMマーク /
ロシア：EACマーク / テュフ ラインランドが発行・代行申請できる各国認証
EMC評価 23
低電圧機器評価 24
テレコム（有線・無線通信端末機器）評価 25
医療機器評価 30
産業機械・半導体製造装置の評価 33
機能安全の評価 35
防爆機器評価（ATEX） 36
圧力機器および材料の評価 37
系統連系保護装置の評価 38
太陽光発電システム評価 39
風力発電システムの製品認証 42
車両・車両部品の評価・試験・認証 43
鉄道システムの試験・認証 47
環境対策・化学評価 48
エネルギー関連評価 50
食品安全評価 52
生活・家庭用品評価 54

マネジメントシステム認証サービス **57**
マネジメントシステム認証 58
主なマネジメントシステム規格 58
情報セキュリティ 60
サプライチェーンセキュリティ 60
統合マネジメントシステム 61
食品安全関連規格 62
カスタマイズサービス（第二者監査） 63
サプライヤ監査（CSR、CoC、ESG、HSE監査など） 63
ディーラー監査（ディーラースタンダード監査、ミステリーショッピング） 64

付加価値サービス **65**
インターネットサービス 66
オンライン認証データプラットフォーム - Certipedia 66
コンプライアンスプラットフォーム 66
試験サービス 67
製品信頼性評価 67
部品信頼性試験 68
エルゴノミクス評価 68
IP（防塵・防水性）試験 68
環境試験（温・湿度、衝撃試験） 68
試験設備 69
ラボラトリー 70
電気製品安全ラボラトリー 71
EMCラボラトリー 72
通信機器ラボラトリー 72
系統連系保護装置評価センター 72
太陽光発電ラボラトリー 72
バッテリー試験ラボラトリー 72
放射性物質含有分析ラボラトリー 72
ラボラトリー認定 73
品質管理（工場検査）サービス 74
トレーニング・資格認定制度 75

資料 **77**
サービスの流れ 78
製品安全関連の証明書・ライセンス 82
ライセンス年間維持費用 83
テュフ ラインランド ジャパンの歩み 84
組織図 86
お問合わせ先・オフィスのご案内 88

はじめに

TÜVとは？

TÜVは「テュフ」と読み、Technischer Überwachungs-Verein（技術検査協会）の略称です。蒸気ボイラー検査の第三者検査機関として19世紀にドイツで発足しました。140年以上にわたり、品質・安全のあらゆる側面でグローバルに人々と企業を支えています。

コミットメント

人・技術・環境の調和のとれた、サステナブルな発展を目指します。

ロゴマーク

三角形のロゴマークは、人・技術・環境の相互関係を象徴するものです。

永年にわたり信頼され、独立した公正な機関が保証するマークとして世界中で認識されています。

TÜVRheinland®

Genau. Richtig.

テュフ ラインランド ジャパン株式会社

製品販売・輸出に必要なコンプライアンス対応を強力にサポートします

テュフ ラインランド ジャパン株式会社は、ドイツに本社をおくテュフ ラインランドグループの日本法人です。1978年に日本駐在事務所を開設し、第三者検査機関として、ドイツをはじめヨーロッパ諸国、その他海外へ輸出される工業製品の安全試験・認証を提供しています。また、日本においても担当省庁の許可・指定により国内向けの評価サービスを展開しています。
対象となる製品は、電気・電子機器や産業用機械、医療機器や自動車ほか、玩具・食品など幅広い分野にわたります。さらに、ISO 9001や14001など、マネジメントシステムについても、欧州最大級の認証機関であるTÜV Rheinland Certのメンバーとして監査・認証を行っています。ますます加速する科学技術の進歩とともに、再生可能エネルギー分野など新しい分野についても、常に最新の評価サービスを提供しています。

テュフ ラインランド ジャパン ― サービスの特長

グローバルな信頼性

今日のビジネスはグローバルに展開しています。新興市場を的確に捉え、最適な生産拠点を確保していくには、グローバルなサポートが欠かせません。テュフ ラインランドは世界66ヵ国に広がるネットワークと経験豊かなスタッフがお客様のニーズに合わせ、信頼性の高いサービスを提供しています。

ローカルニーズに対応

「お客様第一」を基本とし、日本におけるお客様のニーズに的確に対応することに努めています。日本市場を深く洞察して情報を把握するとともに、日本国内の法規制に対する認証サービスにも積極的に取り組んでいます。グローバルサービスと統合したワンストップサービスで、お客様の時間・コスト削減をお手伝いします。

専門性の高い技術力

圧力機器・車両検査から始まったテュフの安全評価技術は、今やエネルギー・環境や日常生活まで、幅広い分野に広がっています。時代の要請に応え、産業の進歩を支えるべく、安全のガイドラインや規格作りなど、技術力の維持・向上に努めています。テュフ ラインランドならではの高い専門性をもって、安全・品質に寄与しています。

― お客様の効率化を実現するサービスを提供します ―

グローバルネットワークと幅広いサービスで、試験・認証の諸手続きの効率化、コスト削減を実現します。

会社概要

社名	テュフ ラインランド ジャパン株式会社
代表者	ホルガー・クンツ 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 アジア太平洋地域最高責任者
設立	1983年
資本金	3億7千万円
年商	70億6千万円（2013年度）
従業員数	400人（2014年6月現在）

会社沿革

1978	日本駐在員事務所 開設
1983	テュフ ラインランド ジャパン株式会社 設立
1992	横浜ラボ、西日本地域担当オフィス 開設
1996	FEMAC 開設、九州オフィス 開設
2005	テクノロジーセンター（GTAC） 開設
2009	太陽光発電評価センター（SEAC） 開設
2010	九州EMCラボラトリー開設
2012	関西テクノロジーセンター（KTAC） 開設

テュフ ラインランド ジャパン 業績推移

	年商（円）
2008年	76億
2009年	75億
2010年	76億
2011年	71.3億
2012年	74.7億
2013年	70.6億

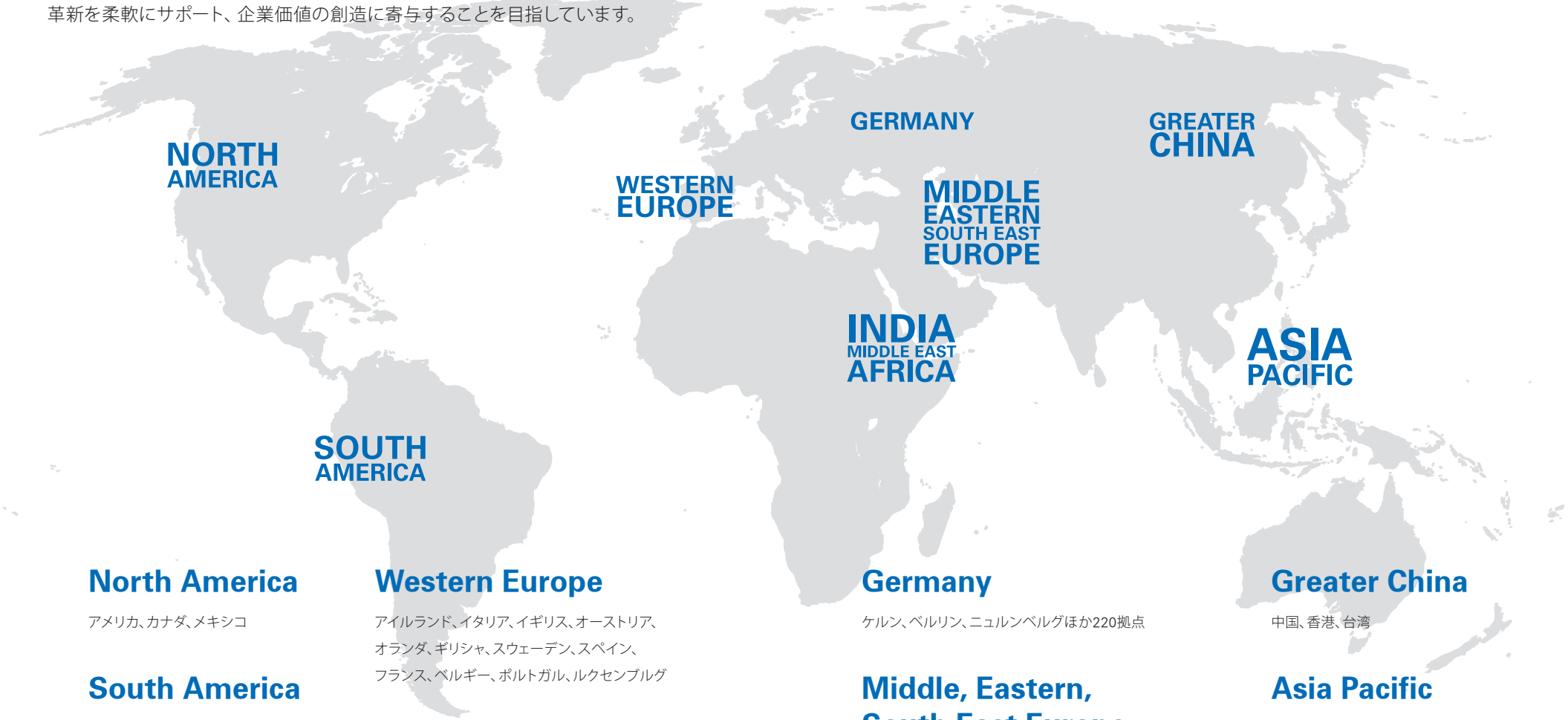
テュフ ラインランド ジャパン 従業員数推移

	従業員数
2008年	365人
2009年	400人
2010年	360人
2011年	365人
2012年	376人
2013年	400人

テュフ ラインランド グループ

グローバルネットワークで、主要市場も新興市場もきめ細かく対応します

テュフ ラインランド ジャパンの母体であるテュフ ラインランド グループは、世界66ヵ国に約18,000人の従業員を擁しています。1872年の設立以来、安定した成長を遂げており、2013年度には、グループとして約16億ユーロの売上を達成しました。
テュフ ラインランド グループは、そのグローバルネットワークで企業の国際展開、事業革新を柔軟にサポート、企業価値の創造に寄与することを目指しています。



North America

アメリカ、カナダ、メキシコ

South America

アルゼンチン、コロンビア、チリ、ペルー、ブラジル、ボリビア

Western Europe

アイルランド、イタリア、イギリス、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スウェーデン、スペイン、フランス、ベルギー、ポルトガル、ルクセンブルグ

India, Middle East, Africa

インド、バングラデシュ、アルメニア、アラブ首長国連邦、カタール、クウェート、サウジアラビア、トルコ、レバノン、ヨルダン、アルジェリア、エジプト、チュニジア、南アフリカ、モロッコ

Germany

ケルン、ベルリン、ニュルンベルグほか220拠点

Middle, Eastern, South East Europe

アルバニア、ウクライナ、カザフスタン、クロアチア、スロバキア、セルビア、チェコ共和国、ハンガリー、ブルガリア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ポーランド、マケドニア、モンテネグロ、ラトビア、ルーマニア、ロシア

Greater China

中国、香港、台湾

Asia Pacific

日本、オーストラリア、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア

テュフ ラインランドの新しい認証マーク

2013年1月より、テュフ ラインランド発行の製品安全マーク、システム認証マークが新しいデザインに変わりました。

テュフ ラインランドの新しい認証マークは、「すべての認証にひとつのマークを」という考え方から作られました。基本的にテュフ ラインランドが発行する認証マークは、新しいマークに切り替えられています。
※テュフ ラインランドのロゴ(青い三角マーク)がついているマークは基本的に新しいマークに切り替わりますが、一部従来のデザインが引き続き使われるものもあります。

マークのデザインについて

新しいマークは、左側にテュフ ラインランドの三角マーク、右側に認証の内容（ロゴやキーワード）がつきます。GSマーク、ISO 9001認証マークの例をご覧ください。

GSマーク

ISO 9001認証マーク

新しいマークのバリエーション

新しいマークは4色と白黒の2種類があります。また、それぞれについて、ご希望によりQRコード付きのデータもご用意いたします。お客様の使用目的により、いずれも同じように使っていただけます。GSマークの例をご覧ください。

4色、QRコードなし

4色、QRコードあり

白黒、QRコードなし

白黒、QRコードあり

※個別のID番号を取得されたお客様の場合、その番号に応じたQRコードをご提供します。QRコードはテュフ ラインランドのオンライン認証プラットフォーム(Certipedia)にリンクし、お客様が取得している製品認証やシステム認証の情報が表示されます。

テュフ ラインランド グループは、新しいマークの認知度アップを目指し、お客様の製品の安全性やシステムの信頼性のアピールにさらに貢献できるよう努めます。

国内外向けのさまざまな製品の安全性を評価し、
貴社製品の市場進出をサポートします

適合性評価サービス

CE マーキング
CB 証明
テュフ ラインランドの認証マーク
海外最新規制調査・情報提供サービス
国際認証マーク
EMC 評価
低電圧機器評価
テレコム評価
医療機器評価
産業機械・半導体製造装置の評価
機能安全の評価
防爆機器評価（ATEX）
圧力機器および材料の評価
系統連系保護装置の評価
太陽光発電システム評価
風力発電システムの製品認証
車両・車両部品の評価・試験・認証
鉄道システムの試験・認証
環境対策・化学評価
エネルギー関連評価
食品安全評価
生活・家庭用品評価

CEマーキング

CEマーキングは、EU加盟各国が市場に流通する製品などを的確に監督することを目的としたマーキングです。

EUで販売される製品については、CEマーキングの貼付が法律で義務づけられています。すべての製品に対して要求されているのではなく、該当製品を対象とする指令があり、その指令がCEマーキングを要求している場合に必要です。

CEマーキングは、製品が適用される要求事項に適合していることを示すものとして、製造者が自己責任において貼付するものです。適合性評価は、自己確認や、公認機関（ノーティファイド・ボディ）による適合性評価の選択肢があります。第三者認証を得ることによって、CEマーキングに一層の信頼を与えることができます。

CEマーキング対象のEU指令／規則

1. 低電圧機器
2. 簡易圧力容器
3. 玩具
4. 建設資材
5. EMC
6. 人体保護防具
7. 非自動重量測定器
8. 能動埋め込み医療機器
9. ガス燃料機器
10. 温水ボイラー
11. 民生用爆薬
12. 医療機器
13. 防爆機器
14. レジャー用船舶
15. 昇降機
16. 圧力機器
17. 機械
18. 体外診断用医療機器
19. 無線・通信端末機器
20. 旅客用ロープウェイ設備
21. 計量器
22. エコデザイン
23. 騒音
24. RoHS
25. 花火

テュフ ラインランドのEU指令適合性評価サービス

EUには、多くの規制・指令があります。EUへ製品を輸出する場合には、CEマーキング以外の指令も考慮する必要があります。
テュフ ラインランドは、多くのEU指令の適合性評価の公認機関であり、適合証明書（CoC）の発行や、指令の要求に基づく品質システムの認証を行っています。
CEマーキングのための評価を効率的に進めていただけるよう、事前の製品分析や、予備検査なども提供しています。

テュフ ラインランドが適合性評価を行っている主なEU指令／規則

- 自動車EMC指令 (72/245/EEC (2004/104/EC))
  Automotive EMC Directive
- EMC指令 (2004/108/EC, 2014/30/EU)
  Electromagnetic Compatibility (EMC) Directive
- 低電圧指令 (2006/95/EC, 2014/35/EU)
  Low Voltage Directive
- 機械指令 (2006/42/EC)
  Machinery Directive
- 防爆 (ATEX) 指令 (94/9/EC)
  Equipment Explosive Atmospheres (ATEX) Directive
- 無線・通信端末機器指令 (1995/5/EC)
  R&TTE (Radio and Telecommunications Terminal Equipment) Directive
- 医療機器指令 MDD (93/42/EEC, 2007/47/EC)
  Medical Devices Directive
- 能動埋め込み医療機器指令 AIMDD (90/385/EEC, 2007/47/EC)
  Active Implantable Medical Devices Directive
- 体外診断用医療機器指令 IVDD (98/79/EC)
  Invitro Diagnostic Medical Devices Directive
- 圧力機器指令 (97/23/EC)
  Pressure Equipment Directive
- 簡易圧力容器指令 (2009/105/EC)
  Simple Pressure Vessels Directive
- 移動式圧力機器指令 (2010/35/EU)
  Transportable Pressure Equipment Directive
- 建設資材規則 (Regulation (EU) No.305/2011)
  Construction Products Regulation
- 電気・電子機器廃棄物 (WEEE) 指令 (2002/96/EC)
  Waste Electrical and Electronic Equipment Directive
- 電気・電子機器における特定有害物質の使用制限 (RoHS) 指令 (2011/65/EU)
  Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment Directive
- 玩具安全指令 (2009/48/EC)
  Toy Safety Directive
- 屋外機器騒音指令 (2000/14/EC)
  Noise Directive
- レジャーボート指令 (94/25/EC)
  Recreational Craft Directive

➡ サービスの流れのページ（P.78）もご覧ください。

CB証明

CBスキーム

CBスキームは国際的相互認証システムで、世界の代表的な認証機関が参加しています。現在世界54ヵ国がCBスキームのメンバーとなっています。
CBスキームに参加する国内認証機関（NCB = National Certification Body）が発行するCBレポート・証明書は、他の国のNCBに提出され、その国での販売に必要となる認証の取得のために使われます。CBスキームの対象となる製品は、IEC規格が適用可能な電気・電子製品です。

テュフ ラインランドのCB証明サービス

テュフ ラインランドは、ドイツ本社のほか、アメリカ、日本がNCBとして認められています。日本では横浜のテクノロジーセンターと関西テクノロジーセンターがCB試験所（CBTL = CB Testing Laboratory）として認定されています。テュフ ラインランド ジャパンは、1998年に日本のNCBに認定されて以来、106,000（2014年6月現在）枚以上のCB証明書を発行しています。

製品カテゴリー

IT・オフィス機器、家庭用電気機器、AV機器、測定機器、医療機器、太陽電池モジュール、電気自動車（充電システム）、リチウムイオン電池、産業用部品および電気部品

➡ サービスの流れのページ(P.79)もご覧ください。

テュフ ラインランドの認証マーク

従来のデザイン

新しいデザイン

GSマーク

GSマークは、ドイツの製品安全法（ProdSG法）に基づいて検査され、安全性が認証された製品に付けられるマークです。GS認証は認証機関として正式に認定を受けた機関のみが行うことができ、その認証機関に対しては、信頼性や独立性が要求されます。型式認証（type approved）マークであるGSマークの認証の際には、製造工場の品質管理体制も問われます。GSマーク認証を受けた製品の製造工場の検査は、ドイツ製品安全法により、原則1年もしくは2年に一度実施することが義務付けられており、これを工場検査と呼びます。工場検査では、認証を受けた製品が量産過程においても認証を受けた内容通り生産されているかが検査され、具体的には製品の品質管理工程、製造環境、試験・測定機器の保守などが検査の対象となります。

テュフ ラインランドはGSマークの認証機関として正式に認定を受けた機関です。

テュフ ラインランドでは、製品がドイツ市場に持ち込まれるか、持ち込みを意図されているもので、ProdSG法もしくはGSの要求事項に100％適合している製品に対してGSマーク認証を行っています。

GSマークの取得には、適用される安全規格に適合するほか、エルゴノミクス、騒音、EMC、化学（PAH）などの条件を満たす必要があります。テュフ ラインランドはこうした評価に対応しています。

GSマークの対象となる製品は、産業用技術機器もしくはそのままで使用可能（Ready-to-use）な日用品です。主な製品として次のものがあります。

- 家庭用電気・機械製品
- 事務機器（コピー機、ファクス、シュレッダ、コンピュータ、プリンタ、モニターディスプレイなど）
- 研究・測定用機器
- 産業用機器・機械
- 玩具

➡ サービスの流れのページ(P.80)もご覧ください。

従来のデザイン

新しいデザイン

TÜV-Bauartライセンス

TÜV-Bauartライセンスは、中立な立場の第三者検査機関であるテュフ ラインランドにより、製品が検査され、関連する安全規格に適合していることを示します。このマークを貼付することによって、製品に対する信頼感が高まります。また完成品に対してGSマークなどの取得を目指す場合、使用される部品がTÜV-Bauartライセンス認証を受けていることで、認証までの期間を短縮し、費用を削減することができます。TÜV-Bauartライセンスは、部品だけでなく完成品も対象としています。認証を受けた製品の製造工場は、定期的に工場検査を受け、認証を受けた製品が量産過程においても仕様通りに生産されていることを確認します。

従来のデザイン

新しいデザイン

GMマーク

GMマークは、診断用機器や治療機器、能動埋込み医療機器、衛生材料または外科用手袋のようなディスポーザブル製品、そしてインビトロ診断用機器など、あらゆる医療機器に適用可能です。
GMマークは任意の認証マークで、テュフ ラインランドにより製品が関連規格に対し評価されその適合を満たしていることを表しています。認証を受けた製品の製造工場は、定期的に工場検査を受け、認証を受けた製品が量産過程においても仕様通りに生産されていることを確認します。

➡ 医療機器評価のページ(P.30)もご覧ください。

テュフ ラインランドの認証マーク

従来のデザイン

新しいデザイン

エルゴノミクスマーク

テュフ ラインランド ジャパンは、モニター、ノートPCやその周辺機器（プリンタ、スキャナなど）について、国際エルゴノミクス規格に基づき、試験・評価を行っています。
GS認証のエルゴノミクス要求事項、EK1-ITB 2000では、LCDモニターはISO 9241-30x、キーボードはISO 9241-4、キーボード以外のインプットデバイスはISO 9241-9によって評価されます。また、ISO 9241-30x、prEN 50279（静電気、電界、磁界に関する要求事項）に適合したLCDモニターについては、エルゴノミクスマークが発行されます。

➡ 試験サービスのページ(P.68)もご覧ください。

従来のデザイン

新しいデザイン

SEMI S2適合マーク

テュフ ラインランドのSEMI S2適合マークは、製品がSEMIガイドラインであるS2に適合している証です。世界の大手半導体メーカーの多くは、製造装置メーカーに対して、第三者のSEMI S2レポートを要求しています。SEMI S2への適合性が十分高い製品は、SEMI S2マーク認証の取得が可能であり、製品に直接適合性を表すマークを貼付できます。認証を受けた製品の製造工場は、定期的に工場検査を受け、認証を受けた製品が量産過程においても仕様通りに生産されていることを確認します。

➡ 産業機械・半導体製造装置の評価のページ(P.33)もご覧ください。

適合性評価サービス

テュフ ラインランドの認証マーク

従来のデザイン

新しいデザイン

機能安全マーク

機能安全規格に基づいた型式認証後に交付されるのがFunctional Safety（FS）のマークです。このマークを製品に貼付することにより、テュフ ラインランドの長年の経験に基づいた評価をクリアした、安全性・信頼性の高い機能安全対応製品であることを市場にアピールできます。

➡ 機能安全の評価のページ(P.35)もご覧ください。

従来のデザイン

新しいデザイン

EMCマーク

適用されるEMC規制に準拠している証となるのが、テュフ ラインランドのEMCマークです。型式認証のため、製品試験だけでなく、定期的な工場検査が実施されます。このマークを貼付することにより、EMC要求事項に適合していることを輸入事業者やエンドユーザーにはっきりと示すことができ、市場での優位性につながります。

➡ EMC評価のページ(P.23)もご覧ください。

従来のデザイン

新しいデザイン

テレコムマーク

テレコムマークの対象は、電話回線に接続される通信端末機器です。このマークは、ヨーロッパをはじめ各国の規制に適合していることを示します。当該国の当局に対して、製品がその国の要求事項に適合していることを証明する最も簡単で有効な手段です。

➡ テレコム評価のページ(P.27)もご覧ください。

海外最新規制調査・情報提供サービス

テュフ ラインランド ジャパンは、テュフ ラインランド グループの海外拠点ネットワークを通じて、必要な認証手続きや輸出規制に関する最新情報を入手し、レポート形式で提供します。情報提供後は、申請代行業務をはじめ、お客様の実際の認証手続きをサポートします。

サービスの流れ

ご提供頂く情報
- 輸出対象製品情報
- 仕向け地（国）
- 情報希望項目

⇨ **お見積り発行** ⇨ **業務ご依頼**

⇩

調査実施 ⇦ **調査結果 レポート発行**

よくあるお問い合わせ内容

- 認証名、認証マーク
- 認証を発行する当局
- 認証プロセス（概略）
- 適用規格
- 現地試験の必要性
- 受け入れられるレポートの種類
- 必要申請書類
- 現地代理人の必要性
- 試験サンプル提出の必要性、必要であればその台数
- 工場登録もしくは工場検査の必要性
- 定格電圧、AC電源プラグの形状
- 認証費用および認証期間（目安）
- 認証の有効期限

日本　PSEマーク
（電気用品安全法に基づき届出事業者が製品に付すべきマーク）

（特定電気用品）　（特定電気用品以外の電気用品）

テュフ ラインランド ジャパンは、電気用品安全法に基づき経済産業大臣より登録を受けた登録検査機関です。特定電気用品に係る届出事業者は、登録検査機関が発行する適合証明書の交付を受け、これを保存しなければなりません。
テュフ ラインランド ジャパンでは特定電気用品に係る適合性検査業務をはじめ、多くの電気用品について適合性評価・認証サービスを提供しています。テュフ ラインランド ジャパンの登録区分については、経済産業省ホームページの電気用品安全法 登録検査機関のページでご確認いただけます。
http://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/denan/kensakikan/kensakikan_list.htm

日本　Sマーク（国内向け認証業務）

※マークのデザインに変更はありません

（SCEA推奨のSマーク）　（テュフ ラインランドのSマーク）

テュフ ラインランド ジャパンでは、電気製品向けに上記2種類の国内向けSマーク認証サービスを提供しています。これらのマークは、中立な立場の第三者検査機関であるテュフ ラインランド ジャパンが、製品（電気用品を含む）とその製造工場を検査し、安全基準への適合性を確認したことを示すものです。
電気製品認証協議会（SCEA）推奨によるSマークは日本市場に広く浸透しており、メーカーが自主的につける安全マークとして利用されています。
テュフ ラインランドのSマークは、電気製品にかかわらず、幅広い製品に利用できます。

北米　NRTL認証 – cTUVusマーク

※マークのデザインに変更はありません

ロゴマーク貼付エリアが小さい場合にご使用ください

テュフ ラインランド オブ ノースアメリカはOSHA（アメリカ労働安全衛生局）よりNRTL（国家認定試験所）として認められた米国国内認証機関です。また、SCC（カナダ標準化委員会）からも認定を受け、製品試験・認証を行っています。
cTUVusマークは、テュフ ラインランド オブ ノースアメリカが発行する、アメリカ・カナダの両国に有効な安全マークです。試験および認証は、アメリカのANSI/UL規格およびカナダ国内規格に基づいて行われます。

アルゼンチン　Sマーク

※マークのデザインに変更はありません

1999年12月にOAA（アルゼンチン認定機関）より製品安全分野における国内認証機関として認定されたテュフ ラインランド アルゼンチンは、アルゼンチンの安全マーク、「アルゼンチンSマーク」を発行しています。

ブラジル　INMETRO認証 /ANATEL認証

※マークのデザインに変更はありません

テュフ ラインランド ブラジルは、ブラジル国内の安全認証機関として指定されており、INMETRO認証が可能です。また、テレコム機器においては、ブラジル国内で最初に認定を受けたANATELの認証機関です。現地での代理人による承認申請もテュフ ラインランド ブラジルがサポートいたします。
また、ブラジル市場に出る医療機器は全て、ANVISA登録（国家による認証制度）を行う必要があります。

サウジアラビア・クウェート

サウジアラビア市場へ製品を輸出する場合、出荷検査が要求されます。製品の入港時には、サウジアラビア政府より認可を受けたLLC（Limited Liability Company）により発行された適合証明書が必要となります。テュフ ラインランド アラビアは、サウジアラビア政府より認定機関に指定されており、製品の評価および出荷検査の証明書発行までサポートいたします。
また、クウェート向けの製品を、クウェート適合性評価制度（KUCAS）ガイドラインに従って試験します。必要な検査を実施し、輸入製品の販売に必要な技術検査報告書を作成します。

韓国　KCマーク、Sマーク、KCsマーク

KCマーク（旧EKマーク）について、テュフ ラインランドは、韓国認証機関のKTLと覚書（MoU）を結んでおり、テュフ ラインランドのCBレポートが受け入れられます。迅速で、確実なマーク認証が可能です。また、韓国に輸出される産業機器に関する規制として、韓国産業安全保健公団（KOSHA）が管轄する任意認証制度（Sマーク）と強制認証制度（KCsマーク）があります。この中で韓国産業安全保健法第35条に基づく「自律安全確認申告」の対象機器が、2012年6月の施行規則改訂により大幅に拡大されました。2013年3月1日から、新たな対象機器範囲で自律安全確認申告制度が施行されました。テュフ ラインランドはKOSHAとの協定に基づき、迅速なサービスを提供しています。
なお、KC（旧MIC）については、RRA認定試験所での試験が必要となります。

中国　CCC認証

テュフ ラインランド ジャパンでは、CCC認証の申請から認証取得に至るまで迅速な申請代行サービスを提供しています。
また、中国におけるNALテレコム認証やSRRC無線認証の申請代行サービスも行っています。

国際認証マーク

適合性評価サービス

メキシコ　NOMマーク

メキシコの製品安全認証制度では、強制のNOM規格と任意のNM規格が制定されています。規制品目に該当する製品をメキシコに輸出する場合、公認機関より適合証明書を取得し、通関手続きを受ける必要があります。テュフ ラインランドはテュフ ラインランド メキシコを通じて、NOMセーフティマークの取得をサポートしています。

ロシア　EACマーク

2013年2月15日よりGOST-R認証制度が廃止され、関税同盟（Customs Union）におけるEACマーク認証制度が開始されました。ロシア、カザフスタン、ベラルーシに製品を輸出する際には、このEACマーク認証の取得が必要となります。テュフ ラインランドはロシアの認証機関と協定を結んでおり、認証取得をサポートします。また、ロシアでは製品の種類により衛生、火災などに関する要求もあり、これらの認証についてもサポートしています。

国際認証マーク

テュフ ラインランドが発行・代行申請できる各国認証

	マーク	必要な認証			
		安全	EMC	テレコム	無線
アメリカ		cTUVusマーク		FCC	FCC
カナダ		cTUVusマーク			
アルゼンチン		Sマーク		CNC	CNC
ブラジル		INMETROマーク		ANATEL	ANATEL
メキシコ	NOM	NOMマーク		IFETEL	IFETEL
南アフリカ		LOA + 適合証明書			
韓国		KCマーク, Sマーク		KCマーク	KCマーク
サウジアラビア	—	適合証明書		CITC	CITC
シンガポール	SAFETY MARK	PSBマーク		IDA	IDA
台湾		BSMIマーク	NCCマーク	NCCマーク	NCCマーク
中国		CCC		NAL	SRRC
日本		<PSE>マーク, (PSE)マーク, Sマーク		適合証明書(JPA)	適合証明書(JRF)
香港		Sマーク			
マレーシア		MSマーク		SIRIM	SIRIM
オーストラリア		SAI-TE XXXX, N XXXX / Q XXXX SAI + C-Tick, DOFT/DOIR + C-Tick	RCM(C-Tick)	RCM(A-Tick)	RCM(C-Tick)
EU	CE	CEマーキング(適合証明書)		適合証明書(R&TTE)	
ウクライナ		Ukrainian安全マーク			
北欧	FI S D N	FI(フィンランド), S(スウェーデン), D(デンマーク), N(ノルウェー)			
スロバキア		適合証明書, ESSマーク			
スロベニア	SIQ	適合証明書+SIQマーク, 適合証明書			
チェコ		適合証明書+ESCマーク, 適合証明書			
ドイツ (EU)		GSマーク, TÜV-Bauartライセンス			
ニュージーランド		Standardマーク, SAI, DOIR, DOFT	C-Tick	Telepermit	C-Tick
ハンガリー		MEEIマーク, Sマーク			
ロシア	EAC	EACマーク, 衛生		EAC	EAC

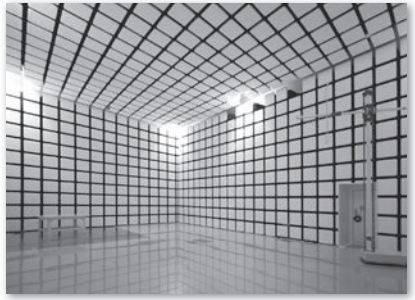
上記以外にもアジア諸国、中東、中南米、アフリカの安全やテレコム、無線の規制に関するサービスを提供しています。
お問合せは、info@jpn.tuv.com または最寄のテュフ ラインランド ジャパンにお電話ください。

EMC評価

公認機関 (ノーティファイド・ボディ) として、EMC指令適合性検査、EMCマーク発行のほか、FCCやVCCIなど各国EMC規制に対する評価など、試験から認証までワンストップでサービスを提供しています。

テュフ ラインランドのEMC試験設備

■テクノロジーセンター (横浜)



10m電波暗室、3m電波暗室、さらにシールドルーム、パルスルームを備え、立会い試験による現場対応もスムーズに行っていただけるよう、ゆとりあるワークベンチを用意しています。

対応周波数:9KHz～220GHz

対応可能な試験・測定 (一例):

- CB試験
- 日本国内:VCCI、電波法、電気用品安全法、医療機器EMC
- 欧州:EMC指令、自動車EMC指令 (eマーク、Eマーク)、医療機器EMC、無線機器試験 (ETSI)
  CEマーク取得のための測定プランの提供およびレポートの作成を行います。
- 北米:米国 FCC (Part 15, 18)、カナダ IC
- ワンストップ認証:安全試験との総合的な認証を提供します。また、各国認証と合わせて提供いたします。

■九州EMCラボラトリー (福岡)

EMC試験・認証、EMC設計分析サービスを提供しています。

■任命テストサイト

ISO/IEC 17025に基づく審査に合格し任命された数多くの試験サイトと提携しています。

■オンサイト試験

産業用設備などの場合は、現場にエンジニアが出向き測定を行うことも可能です。

EMC指令適合性評価

➡ CEマーキングのページ(P.11)をご覧ください。

EMCマーク

➡ テュフ ラインランドの認証マークのページ(P.16)をご覧ください。

低電圧機器評価

一般用電気・電子機器について、各国規制に対応するための試験・評価サービスを提供しています。

■ 情報処理機器・オーディオビデオ機器・ラボ用機器・家庭用機器

テュフ ラインランドでは、各種電気製品について、該当する国際規格などを用いて安全評価を行います。試験・検証により、電気に起因する感電や火災などのリスクが設計上十分に低減されているかどうか確認し、テストレポートや証明書、認証ロゴを発行します。テュフ ラインランドの国際認証部門と連携し、スムーズな国際認証サービスを提供いたします。

主な対応規格：IEC 60950-1、IEC 60065、IEC 61010、IEC 60335、IEC 62368-1 など

主な評価サービス

- 欧州CEマーキングのための適合性評価・支援サービス(P.11)
- IECEEによるCB証明書・テストレポートの発行(P.12)
- ドイツGSマーク認証(P.13)
- テュフ ラインランドが発行する、TÜV-Bauartライセンス(P.14)
- 製品の省エネ関連評価(P.50)
- 国際認証サービス(P.18-P.22)

■ LED

LED光の人体に対する影響性評価など、各種LED製品に必要な評価を行っています。LEDは用途・形状などにより、モジュールやLEDランプ、LEDモジュール用制御装置、ランプソケットなど、それぞれについて電気・機械的安全性の規格があります。また、人体への光照射の安全性評価についても、リスクグループ分けが必要となります。

主な対応規格：IEC 62471、IEC 62031、IEC 62560、IEC 61347シリーズ、IEC 60838シリーズなど

■ レーザー機器

レーザー製品については、クラス分け、製品への適切なラベリングなどが評価範囲となります。テュフ ラインランドはIEC/EN 60825など、国際規格に基づいてレーザー製品の安全性評価を行っています。

テレコム（有線・無線通信端末機器）評価

テュフ ラインランド ジャパンは、各国規制に対し次のような試験・認証を行っています。

有線／無線	規格を定める国／法規・団体	適用法	規格名
有線（公的規制）	総務省（日本）	電気通信事業法	
	FCC（米国）	Part 68	TIA-968-B HAC/VC
	カナダ		CS-03 Part I, PartV
	ニュージーランド	Telepermit	PTC 200
	オーストラリア		S002, S004
	ロシア		Russia Regulations for PSTN of 29 August 2005 No 102
	サウジアラビア		SSA 410
	マレーシア		SKMM FTS PSTN
有線（ボランタリー規制）	欧州		TBR21, EG201120, EG201121, ES201729, ES201187, ES203021, TBR38
	香港		HKCA 2011(HKTA 2011)
	シンガポール		IDA TS PSTN
無線（公的規制）	総務省（日本）	電波法	
	FCC（米国）	FCC part 15	
	欧州	R&TTE指令	
無線（ボランタリー規制）	*Bluetooth* SIG	*Bluetooth* ロゴ認証	
	Wi-Fi Alliance	Wi-Fi ロゴ認証	
	Wi-SUN Alliance	Wi-SUN ロゴ認証	
	ZigBee Alliance	ZigBee ロゴ認証	
	Open ADR Alliance	Open ADR ロゴ認証	
	G3-PLC Alliance	G3-PLC ロゴ認証	

※ これ以外の規格については、カスタマーサービスセンター（info@jpn.tuv.com）、または最寄のオフィスにお問合わせください。

有線・無線（公的規制）ー 日本国内

電気通信端末機器　技術基準適合認定・設計認証

テュフ　ラインランド　ジャパンは、電気通信事業法の登録認定機関として総務省へ登録されています。技術基準適合認定のための試験・認証を行っており、手続きには以下の2種類があります。

1. 技術基準適合認定（電気通信事業法 第53条）
   端末機器の個別の機器ごとに行う認定です。
2. 設計認証（電気通信事業 第56条）
   端末機器の設計（設計図、タイプ）および業者の端末機器の取扱い段階の品質管理方法を対象として行う認証です。主に大量生産製品用の認証です。

テュフ ラインランド ジャパンでは平成23年4月に施工された総務省令第92号に規定されているIP電話機に対する試験・認定（認証）も行っています。

無線通信設備　技術基準適合証明・工事設計認証

テュフ ラインランド ジャパンは、特定無線設備の登録証明機関として総務省へ登録されています。日本の技術基準に対する証明・認証を行っており、手続きには以下の2種類があります。

1. 技術基準適合証明（電波法 第38条の6）
   無線設備の個別の機器ごとに行う証明です。
2. 工事設計認証（電波法 第38条の24）
   無線設備の工事設計（設計図、タイプ）および業者の無線設備の取扱い段階の品質管理方法を対象として行う認証です。

テレコム（有線・無線通信端末機器）評価

適合性評価サービス

有線・無線（公的規制）ー 海外向け

欧州　R&TTE指令

テュフ ラインランドは、R&TTE指令の公認機関（ノーティファイド・ボディ）で、テストレポート・適合証明書発行を行っています。テュフ ラインランド ジャパンのテレコムラボは、ISO/IEC 17025を取得しており、そのテストレポートを使ってCEマーキングのための自己宣言が可能です。

米国　FCC
カナダ　IC

テュフ ラインランド ジャパンのテレコムラボは、FCCのTCB（Telecommunications Certification Body）契約ラボとして登録されています。また、IC（Industry Canada）の認定ラボにもなっています。日本でFCCやICの適合性試験およびテストレポート作成を行い、ドイツでTCB認証発行、ICへの登録が可能です。

オーストラリア　A-Tick
ニュージーランド　Telepermit

テュフ ラインランド ジャパンのテレコムラボは、ニュージーランド認証ラボ資格を有しています。Telepermit認可取得に必要なテストレポートの発行が可能です。また、オーストラリアのA-Tickマーク認可取得のためのレポート発行も行っています。

その他

テュフ ラインランドでは、中国、韓国、台湾、香港、シンガポール、マレーシア、サウジアラビア、南アフリカ、アルゼンチンなど、世界各国のテレコム認証についても幅広くサービスを提供しています。

➡　国際認証マークのページ(P.22)もご覧ください。

テレコムマーク

➡　テュフ ラインランドの認証マークのページ(P.16)をご覧ください。

無線（ボランタリー規制）

Bluetooth

The *Bluetooth* word mark and logos are owned by the *Bluetooth* SIG, Inc. and any use of such marks by TÜV Rheinland Japan Ltd. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

*Bluetooth*は、高度なセキュリティを維持したまま、携帯デバイスや固定デバイス相互間のデータ通信をケーブルレスで実現する近距離無線通信技術です。*Bluetooth*の主な特長は、堅牢性、省電力、低コストです。*Bluetooth*は、幅広い範囲のデバイスが相互に接続および通信できるように、標準化されています。テュフ ラインランド ジャパンは、*Bluetooth*認定試験施設（BQTF）として最新仕様v4.0の認証試験が可能です。製品の資格認定作業を行う*Bluetooth*認証エキスパート（BQE）も3名在籍しています。

Wi-Fi

Wi-Fiは、無線LAN規格IEEE802.11a/b/g/nのブランド名です。テュフ ラインランド ジャパンは、Wi-Fiアライアンスの正式認定に基づき、IEEE802.11a/b/g/nなどの相互接続確認およびWi-Fiロゴ使用のための認証試験を行っています。また、Wi-Fi Directなどの新技術についてもいち早く対応しています。

Wi-SUN

Wi-SUNは、スマートユーティリティーネットワークのさまざまな分野に適用可能な通信テクノロジー規格です。Wi-SUN認証製品として相互接続を保証するWi-SUNロゴを付帯するためには、Wi-SUNアライアンスの認証プログラムに基づき、適合性および相互運用性の認証試験を行う必要があります。テュフ ラインランドは、Wi-SUN認証試験を行うラボとして、Wi-SUNアライアンスに指定されています。

テレコム（有線・無線通信端末機器）評価

適合性評価サービス

ZigBee

ZigBeeは、低コスト、省電力で、メッシュを含む多彩なネットワーク構成を実現できる近距離無線通信テクノロジー規格です。ZigBee認証製品として相互接続を保証するZigBeeロゴを付帯するためには、ZigBeeアライアンスの認証プログラムに基づき、適合性および相互運用性の認証試験を行う必要があります。テュフ ラインランド ジャパンのテクノロジーセンターは、ZigBee認証試験を行うラボとしてZigBeeアライアンスより認定を受けています。

OpenADR

デマンドレスポンス（DR）とは、電力使用のピーク時に、電力会社などが工場やビル、一般家庭などの需要側に節電を要請し、コントロールすることで電力の需給バランスをとる技術のことです。今後は、電力事業者からの節電要請に需要者が迅速かつ効果的に対応できるように、自動デマンドレスポンス（ADR）化が不可欠となります。OpenADRアライアンスによって制定されたOpenADR仕様は、国内外の先進的なスマートグリッドデマンドレスポンス実証で、中心的な役割を担っており、実用化に向けた取組みが急速に進んでいます。OpenADR製品として認証を得るには、OpenADRアライアンスの認証プログラムに基づき、適合性の認証試験を行う必要があります。テュフ ラインランド ジャパンのテクノロジーセンターは、OpenADR認証試験を行うラボとしてOpenADRアライアンスより認定（国内限定）を受けています。

スマートグリッド製品評価

スマートグリッドは、世界各国のエネルギー政策や電力事情に基づき、積極的に推進されています。今後、スマートコミュニティ社会実現に向けて、スマートメーターやHEMSコントローラー、スマートアプライアンスなどのネットワーク通信機能を持ったスマート製品群が、スマートビルやスマートハウスの一部として市場に普及します。
テュフ ラインランドは、これまでの認証試験に加え、スマートグリッド標準技術として要求されるさまざまな最新の試験、認証をサポートいたします。スマート製品の市場展開には、複数の認証が要求されたり、複数の国の規制への対応が必要になるなど、要求が複雑になることがあります。テュフ ラインランドは、1つの製品に対する複数の認証についても、ワンストップサービスを提供いたします。

テュフ ラインランドは、以下のスマートグリッド関連団体にメンバーとして積極的に参加しています。
Wi-Fi Alliance、Bluetooth SIG、ZigBee Alliance、Wi-SUN Alliance、エコーネットコンソーシアム、CSEP、OpenADR Alliance、JSCA、OpenSG、NIST、KNX、G3-PLC Alliance

医療機器の製品安全認証

CEマーキング

各欧州医療機器指令によるCEマーキングのため、製品の適合性評価と品質マネジメントシステム監査が可能です。

➡ CEマーキングのページ(P.11)もご覧ください。

CB証明・テストレポート

テュフ ラインランド ジャパンのテクノロジーセンターは、IEC 60601-1シリーズ（医療機器）の日本初の国内認証機関（NCB）です。

➡ CB証明のページ(P.12)もご覧ください。

GMマーク

テュフ ラインランドが発行する欧州向け医療機器の任意認証マークで、テュフ ラインランドにより製品が関連規格に対し評価され、その適合を満たしていることを表します。GMマーク認証を受けた製品の製造工場は、定期的に製品検査を行い、認証を受けた製品が量産過程においても仕様通りに生産されていることを確認します。

➡ テュフ ラインランドの認証マークのページ(P.14)もご覧ください。

TÜV-Bauartライセンス（型式認証）

➡ テュフ ラインランドの認証マークのページ(P.14)をご覧ください。

cTUVusマーク

テュフ ラインランド オブ ノースアメリカは、アメリカ・カナダの規格に基づく電子医療機器の適合性評価および安全証明の認証を行う機関として認定を受けています。

➡ 国際認証マークのページ(P.19)もご覧ください。

薬事法

登録番号第AB号として、テュフ ラインランド ジャパンは、薬事法23条の2による指定管理医療機器の認証機関として登録されています。

すべての認証対象22区分で、（低リスクの体外診断用医薬品を含む）指定管理医療機器と体外診断用医薬品の認証を行うことができます。

医療機器評価

適合性評価サービス

グローバルネットワークを活かし、海外製造所における厚生労働省令169号に基づく実地調査には、各国の現地の拠点から調査員派遣が可能です。

ワンストップでの複合審査が可能です。厚生労働省令169号の実地調査、ISO13485:2003認証やMDD欧州医療機器指令、IVDD体外診断用医療機器指令などとの複合審査（調査）が可能です。

医薬品医療機器等法

薬事法が改正され、2014年中に医薬品医療機器等法が施行される予定です。新法下では、リスククラスⅢの後発の高度管理医療機器について、認証基準が制定されます。テュフ ラインランド ジャパンは、リスククラスⅢの機器ついても、リスククラスⅡの管理医療機器と同様に、登録認証機関として製造販売認証業務を実施する予定です。グローバルネットワークを活かし、従来と同様に各国の現地拠点から新法下でのQMS調査のための調査員の派遣も可能です。また、新QMS調査、ISO 9001:2008、ISO 13485:2003認証、MDD欧州医療機器指令、IVDD体外診断用医療機器指令などのワンストップでの複合審査が可能です。

その他の医療機器評価

最新の医療機器規制・国際規格に迅速に対応

IEC 62366（ユーザビリティ）、IEC 62304（ソフトウェア）、IEC 60601-1:2005（医用電気機器 - 基礎安全及び基本性能に関する一般要求事項 第3版）など、最新の国際規格の適合性評価認証にいち早く対応します。

医療機器の周辺機器やコンポーネントの適合性評価

IEC 60825-1（レーザー）など、周辺機器への適合性評価も実施しています。

マルチプルユース機器における複合評価

医療機器（IEC 60601-1）、情報機器（IEC 60950）、体外診断用医療機器（IEC 61010-1, IEC 61010-2-081, IEC 61010-2-101）、ラボ機器（IEC 61010-1）の各種規格の複合評価が可能です。

生体適合性評価

欧州の協力試験ラボは、ISO/IEC 17025およびGLP（Good Laboratory Practice）の認定を受けており、当ラボが発行する試験データは、各国が市販前申請に求めるデータとして、有効性が確保されています。また、国内での試験に比べて大幅にコストを削減でき、時間も短縮化が可能です。

医療機器に関する品質マネジメントシステム認証

ISO 9001

➡ マネジメントシステム認証のページ(P.58)をご覧ください。

ISO 13485

➡ マネジメントシステム認証のページ(P.59)をご覧ください。

製造販売認証に係るQMS調査

薬事法に基づく指定管理医療機器の認証に必須となるQMS適合性調査、およびサーベイランス調査を行います。新法下においても、新QMS省令に基づくQMS調査を行う予定です。また、必要な場合、新法に基づき製品群ごとの基準適合証の交付を行う予定です。

CMDCAS（カナダ医療機器適合性評価システム）

カナダにおけるクラスII以上の医療機器の製造業者は、CMDCASのスキームに則って、品質マネジメントシステムのレジストラーから、ISO 13485:2003の監査・登録を受けなければなりません。テュフ ラインランド ジャパンは、CMDCASに基づく品質システム監査を実施しています。

SEMI S2/S8評価サービス

SEMIは、半導体・FPD・ナノテクノロジー・MEMS・太陽光発電・その他関連技術の製造装置・材料・関連サービスを提供している企業の国際的な工業会です。行政や監督部署とのコラボレーション、産業界の研究、市場データのレポートなどにより、産業や製造業の発展と成長を促進することを目的としています。

SEMI S2は1990年代初めに、主に米国の半導体業界が中心となって考案されたガイドラインで、安全インターロックシステム、緊急遮断、電気設計、火災保護、人間工学、環境への配慮、化学物質、その他のさまざまな面で安全性能を要求しています。世界の大手半導体デバイスメーカーの多くは、製造装置購入契約時の条件の一つとしてSEMI S2に基づく第三者評価を要求しています。人間工学に関する要求事項では、さらに詳しく評価するためにSEMI S8を参照しています。

テュフ ラインランドでは、SEMI S2/S8適合へ向けた設計段階からの試験およびトレーニング、SEMI S2/S8評価レポートの作成、化学的検査およびトレーサーガステストなど、総合的なSEMI評価サービスを提供しています。

SEMI S2適合マーク

➡ テュフ ラインランドの認証マークのページ(P.15)をご覧ください。

米国フィールド ラベリング

フィールド ラベリングは、米国内の工場で使用される装置が、地域の安全要求事項に合致しているかどうかを、実際に最終設置場所で検査する制度です。検査は、OSHA（アメリカ労働安全衛生局）で認定されたNRTL（国家認定試験所）などによって行われ、州・郡・市当局などの最終確認を受けたのち、通電許可を得ます。テュフ ラインランド オブ ノースアメリカは、フィールド ラベリングを行うことができるNRTLとして認定されています。また、テュフ ラインランド ジャパンでは、輸出前に日本国内で事前評価サービスを行っています。出荷前の段階で、現地設置後に起こりうる問題点をあらかじめ取り除くことができ、日本での装置設計から現地での運転開始までをスムーズに進めることができます。

ISO 12100

ISO 12100は機械安全の国際規格で、「機械」や「機械の安全性」についての定義を述べた基本概念の他、「危険源の種類」、「安全方策の選択指針」、「設計によるリスクの低減」などから構成されています。機械類の安全を実現する方法として、リスクアセスメントを実施することが要求されており、アセスメントの原則、リスク低減策についても説明されています。日本においても内容が整合されたJIS B 9700（機械類の安全性ーリスクアセスメントの原則）が発行されています。リスクアセスメントは、全ての機械にはリスクが存在するという大原則に基づき、機械に存在するリスクを分析・評価する論理的なステップです。テュフ ラインランド ジャパンでは、EUの機械指令への適合性評価における豊富な経験を活かし、ISO 12100に対する適合性評価サービスを提供しています。

サービスロボットの安全対策

サービスロボットの実用化には日本の高い技術と品質が大きく貢献します。また、国内外の市場へ進出するためには、これまで以上の安全が要求されます。そのため、本質安全設計による方策を講じ、危険源の特定やリスクの程度などを的確に査定し、リスクアセスメントを行う必要があります。テュフ ラインランドは、第三者検査機関としてロボットの安全性試験や、リスクアセスメント、その他電気関連試験などを提供します。

CEマーキング

機械指令、低電圧指令、EMC指令、防爆（ATEX）指令などによる適合性評価を行っています。

➡ CEマーキングのページ(P.11)をご覧ください。

北米NRTL認証／韓国Sマーク、KCマーク、KCsマーク／ブラジルNR-12適合性評価

北米、韓国、ブラジル向け産業機械の認証をサポートします。

➡ 国際認証マークのページ(P.19-P.20)をご覧ください。

TÜV-Bauartライセンス

産業機器・部品の安全検査、認証を行います。

➡ テュフ ラインランドの認証マークのページ(P.14)をご覧ください。

テュフ認定アドバイザー（TAA）制度

➡ トレーニング・資格認定制度のページ(P.75)をご覧ください。

機能安全（Functional Safety）評価・認証サービス

生産設備やプラントなどの安全制御に電子制御を採用する場合、その機能の信頼性および安全性を立証しなければなりません。電子制御は機械的な構造の安全機器に比べ、誤動作または緊急時に作動しない可能性があり、信頼性が低いとされてきました。機能安全は電子制御機器のハードウェア、ソフトウェアそして開発設計にいたるプロセスまでを評価することにより、規格要求に基づいた安全度水準レベル(Safety Integrity Level : SIL)を満たしていることを証明するものです。
テュフ ラインランドは、生産設備、化学プラント、原子力発電所などリスクの高い安全システムにおいて、豊富な評価経験があります。これらの経験に基づいた認証プロセスにより、国際的に信用性の高い機能安全評価・認証サービスを提供します。

主な対象製品

安全PLC、産業機械、モータードライバ、センサー、化学プラント、安全制御装置、
その他安全部品（セーフティマット、セーフティライトカーテンなど）

自動車分野の機能安全

自動車分野においては、従来より搭載されていた機能の電子制御化や、予防安全の考えの普及により、車両搭載システムの複雑度が急激に高まっています。そして最近のリコールの内容からもわかるように、複雑度に起因した故障や設計ミスによる事故のリスクが増加しています。テュフ ラインランドは、自動車業界での十分な実績と機能安全分野での長年の経験を強みに、自動車分野の機能安全の国際規格ISO 26262に基づいた製品・プロセス認証や適合に向けたサポートを行っています。

テュフ ラインランドでは日本国内で技術相談から評価・認証までのサポートが可能で、すでに多くの実績があります。また、認証サービスの他に専門家による教育・研修支援サービスなども行っています。

➡ テュフ ラインランドの認証マークのページ(P.16)もご覧ください。

機能安全エンジニア資格コース（IEC 61508、ISO 26262 ）

➡ トレーニング・資格認定制度のページ(P.75) をご覧ください。

防爆機器評価（ATEX）

防爆は、製造者のみならず販売者にも関わるテーマです。爆発の危険性のある領域で機器が使用される場合、電気機器であるなしにかかわらず、適合性試験とその証明が要求されます。テュフ ラインランドでは、ATEX（防爆）専門家が国内外を問わず、お客様の立場で認証取得まで確実なサポートを行います。

ATEX（欧州防爆指令, 94/9/EC）およびIECExスキーム（国際相互認証制度）の枠内での欧州および国際的に有効な製品認証

- 指令の付録 III と IX に準拠したEC型式試験と個別試験
- IECEx準拠の適合証明書（CoC）
- IECテストレポート（ExTR）

ATEX（欧州防爆指令, 94/9/EC）およびIECExスキーム（国際相互認証制度）の枠内での欧州および国際的に有効な品質保証認証

- 指令の付録 IV から VII に準拠して製造と製品の品質保証試験
- IECEx 品質アセスメントレポート（QAR）

測定装置、制御装置のATEX関連機能安全評価

ワークショップ、セミナー、研修

- 引火危険性分析とリスク評価
- 技術書類／取扱説明書の作成
- 危険場所分析（ゾーニング）
- 産業安全技術協会申請サポート
- 関連規格セミナーなど

テュフ ラインランドは、公益社団法人産業安全技術協会 (TIIS) より、防爆検定の指定外国機関として指定されています。また、韓国 KTL と覚書 (MoU) を結んでいます。台湾、中国、ブラジル市場向けの試験も提供いたします。

テュフ ラインランド ジャパンでは、圧力機器に関し、欧州への輸出業務とともに日本への輸入業務を幅広くサポートしています。また、各種材料に対し、海外の技術基準への適合性評価も行っています。

対象製品

圧力容器、ガスシリンダ、ボイラー／蒸発器、コンポジットシリンダ、熱交換器、溶接材料、パイプライン／パイプライン機器、バルブ、レギュレータ、エアバックシリンダ他

ヨーロッパ向けサービス（認証検査機関番号：CE0035）

EU 指令適合性評価

圧力機器指令（97/23/EC）、簡易圧力容器指令（2009/105/EC）、移動式圧力機器指令（2010/35/EU）、建設資材規則 (Regulation (EU) No.305/2011)

➡ CE マーキングのページ (P.11) もご覧ください。

認証業務

- 型式認証
- 材料認証、溶接材料認証
- 設計認証
- EN 溶接施工法および EN 溶接士の認証
- 工場認証（材料および製品）

EN ISO 9001 工場認証と圧力機器指令 PED97/23/EC を組み合わせた登録
EN ISO 9001 工場認証と EN ISO 3834 を組み合わせた登録
EN ISO 3834 溶接品質管理工場認証
設計コンサルティング・各種セミナー

日本向けサービス

厚生労働省の指定外国検査機関（ボイラー、圧力容器、移動式クレーン）および高圧ガス保安協会の海外検査機関としての業務

- 各種検査（溶接部の機械試験、圧力容器の耐圧・気密試験、クレーン関連など）の立会い
- 海外での輸入圧力容器検査業務のコンサルティング

テュフ ラインランド グループとしての業務

- 各技術基準における強度計算
- 海外メーカーへの設計、溶接施工法、JIS相当材選定などのコンサルティング
- 労働安全衛生法、高圧ガス保安法に基づく申請代行業務

系統連系保護装置の評価

再生可能エネルギーの利用が増加し、近年スマートグリッド（次世代配電網）の整備が進められ、電力系統と発電・蓄電システムをつなぐ系統連系の安全性評価がさらに重要視されています。
テュフ ラインランド ジャパンでは、太陽光発電や燃料電池などさまざまな分散型電源装置に対応した系統連系保護の性能評価試験を行っています。系統連系試験設備では、50kW以下の機器の評価が可能です。日本国内の系統連系規定をはじめ、海外の規格に基づく評価・認証が可能です。

主なサービス：

- 系統連系規定 JEAC 9701-2010に基づく評価・認証
- IEC規格および北米、欧州など各国の系統連系規格に基づく評価・認証
- EN 50530に基づくMPPT効率測定
- FRT試験評価
- 調査研究評価
- 複数台連系試験の評価
- 各種再生可能エネルギーの系統連系評価
- 各国の系統連系技術調査

取り扱う主な海外規格:

IEC規格
製品安全規格 IEC 62109-1、-2 (2010/4および2011/6)
系統連系規格 IEC 61727 (一般要求事項のみ。個別要求は地域ルールを容認)
単独運転試験方法の規格 IEC 62116 (Ed.2.0)

北米
製品安全規格 UL 1741
系統連系規格 IEEE 1547-1&2、Rule21

欧州
製品安全規格 IEC/EN 62109-1、-2 、EN 50178、(IEC 62103 パワーエレクトロニクス製品一般要求事項)
系統連系規格は各国個別要求事項による

太陽光発電システム評価

テュフ ラインランドは、太陽光発電システム評価のエキスパートです。薄膜系・結晶系両方の太陽電池モジュールに対応し、ジャンクションボックス、ケーブル、コネクター、インバータなどトータルに評価試験を行います。

薄膜系・結晶系太陽電池モジュール
下記の規格に準じて認証試験を行っています。認証済みモジュールにはテュフ ラインランドの認証マークを表示することができ、欧州、その他の市場への円滑な参入に役立ちます。

IEC/EN 61215： 地上設置の結晶シリコン系太陽電池モジュール
- 性能・信頼性の設計適合性確認および型式認可

IEC/EN 61646： 地上設置の薄膜系太陽電池モジュール
- 性能・信頼性の設計適合性確認および型式認可

IEC/EN 61730： 太陽電池モジュールの安全性適合確認

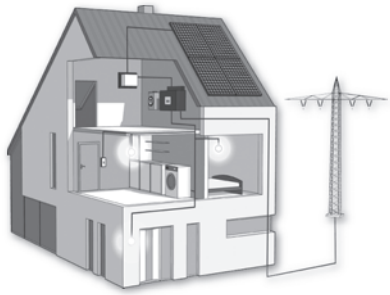
ジャンクションボックス
適用規格：DIN V VDE V 0126-5、EN 50548

ケーブル
適用規格：2Pfg 1169

コネクター
適用規格：DIN VDE 0126-3、EN 50521

インバータ
適用規格：IEC 62109-1 / IEC 62109-2、IEC 61727、IEC 62116、
Grid-interconnection Code JEAC 9701-2010

バックシート
適用規格：2Pfg 1793、IEC 60664-1



太陽光発電所評価・認証サービス

テュフ ラインランドは、システムインテグレーター、建設会社、プラント所有者・投資家など幅広い方々にサービスを提供しています。サービス内容は、立地条件の評価、デューデリジェンスから、品質、安全性、電力供給能力を含む太陽光発電システム全体の試験と評価まで多岐にわたります。テュフ ラインランドは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ各地の7ヵ所に太陽光発電の試験所を有し、太陽光発電モジュールおよび構成部品などの評価を含めた検査・認証サービスを世界中で提供しています。太陽光発電所のスムーズな開発・運営のため、テュフ ラインランドのサービスをぜひお役立てください。

さらなる信頼の証のために　— テクニカルデューデリジェンス —

不動産売買や証券化などで、専門家がさまざまな項目でその資産価値を評価をするデューデリジェンス。太陽光発電所においても機能、品質、安全性を適切に評価するには多角的な見地からの評価が不可欠となります。テュフ ラインランド ジャパンは、高い実績と専門性で太陽光発電所のテクニカルデューデリジェンスを行っています。計画、建設、運用、売買などのさまざまなステージで技術面から評価を行い、中立的な立場で報告書を作成します。ご要望に応じたサービスプランをご提案いたします。

二次基準太陽電池校正、太陽電池セル・モジュールの性能測定

テュフ ラインランド ジャパンは、IEC 60904-2に基づき、二次基準用太陽電池セル・モジュールに対し、一次基準太陽電池との比較により二次校正を行い、校正証明書を発行しています。また、IEC 60904-1に基づき、太陽電池セル・モジュールの性能測定(IV特性)を行い、試験成績書を発行しています。当試験所は、独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)の認定センターであるIA Japanより、ASNITE校正事業者認定プログラム、試験事業者認定プログラムによるISO/IEC 17025認定を取得しており、校正証明書/試験成績書にはILAC-MRA*の認定ロゴマークが付されます。日本で初めて、二次基準太陽電池モジュールの校正サービスが提供できる校正事業者として認定されており、世界最高水準の測定能力をもちます。

*ILAC: 国際試験所認定協力機構、MRA: 相互承認取決

住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金制度

テュフ ラインランド ジャパンの太陽光発電認証を取得した太陽電池モジュールは、日本政府による補助金制度の対象となります。詳しくはJ-PEC（太陽光発電普及拡大センター）のホームページをご覧ください。www.j-pec.or.jp

太陽光発電システム評価

適合性評価サービス

長期信頼性試験

テュフ ラインランド ジャパンは、太陽電池モジュールの長期信頼性、安全性評価を提供しています。現在、モジュールの寿命評価技術は確立されていないため、テュフ ラインランドをはじめ多くの試験機関で、長期信頼性評価技術に関する研究開発が推進されています。テュフ ラインランド は、研究開発などにより得られた知見や、実フィールドでの不具合情報を基に、お客様に適した独自の試験方法をご提案いたします。

火災試験

テュフ ラインランド ジャパンは、IEC 61730 に基づく太陽電池モジュールの外部火災に対する耐性を認証するための火災試験を行っています。この火災試験は、モジュールが外部火災の影響に対して十分に耐えられることを証明することが目的です。
太陽電池の試験規格であるIEC 61730（太陽電池モジュール安全性適合確認）およびANSI/UL 1703（フラットプレート太陽電池モジュールおよびパネル）では、モジュールの火災試験が要求されています。これらの規格ではUL 790規格に規定される、火災伝播試験と飛び火試験の2つを要求しています。

テュフ ラインランドはグループ全体でアジア、アメリカ、ヨーロッパなど7ヵ所に試験所を開設。太陽光発電モジュールおよび構成部品の検査・認証サービスを世界中でご利用いただけます。長期屋外暴露試験、複合加速劣化試験、機械的偏荷重試験、塩水噴霧試験、信頼性試験、PID耐性試験など、さまざまな試験、R&D対応を行っています。

風力発電システムの製品認証

世界では、風力発電システム関連製品が増えており、最新の風車や部品に対する認証の需要が高まっています。製品を輸出する場合、国際規格や整合規格への適合を示す証明書が大きな役割を果たします。また、銀行や保険会社も製品認証を重視しています。
テュフ ラインランドは、風車とその部品に対し、国際規格 IEC 61400シリーズに基づいた認証サービスを提供しています。また、DIBtやGLなどの諸外国の規格やガイドラインにも対応いたします。

型式認証

型式認証では、風力発電システムが設計仮定や特定の規格、その他の技術要求事項に従って設計、文書化、製造されていることが確認されます。この認証を受けるには、風力発電システムが設計書類に則って設置、運用、メンテナンスできることを根拠をもって明らかにすることが要求されます。型式認証は、同一の設計および製造で量産される型式に対して適用されるもので、項目として、設計、製造、適合試験関連手続きおよび運搬・立地・設置・管理計画が含まれています。
型式認証は、タワーの種類やタワーと基礎の接続を含み風力発電システム全体が対象となります。システムの設計に関連し、1つ以上の基礎を含む場合は、基礎に関する要求事項も含まれます。

部品認証

部品の認証では、風車の主要部品が、設計仮定や特定の規格、その他の技術要求事項に従って設計、文書化、製造されていることを確認します。部品認証の手続きは型式認証手続きにあわせて実施されます。
部品の認証は、ブレードやギヤボックスなどの主要な風力発電システムの部品を網羅しています。

性能評価

既存設備の性能を再評価します。これにより計画時の発電性能と比較し、設備の改造や発電計画の見直しなどの資料として活用が可能です。計画時の風況報告書との比較、タービンでの発電量と系統連系部での電力量の比較などを行います。

テュフ ラインランドは、ドイツの認定機関により、EN 45011に従って、IEC 61400 シリーズにおける風力発電システムの認証が可能な認証機関として認定されています。

テュフ ラインランド ジャパンでは、EU指令・ECEレギュレーション・台湾法規に従った車両および車両部品の認証サービスを提供しています。加えて、全世界に広がるテュフ ラインランド グループのネットワークにより、上記法規以外に基づいた型式認証サービスの提供も可能です。各認証当局より認定を受けたテクニカルサービスとして認可取得をサポートしているため、安心してサービスをお受けいただけます。
評価・認証サービスだけではなく、ご希望に応じて技術スタッフへのトレーニングおよびセミナーも提供しています。

自動車・自動車部品などの欧州型式認証／EU指令・UNECE（国連欧州経済委員会）ーECEレギュレーション

EUでは、自動車・自動車部品を販売する場合、EU指令ならびにECEレギュレーションの要求事項を満足し、認可を取得しなければなりません。認可を取得した製品には、Eマーク（ECEレギュレーション）やeマーク（EU指令）が表示されます。

自動車・モーターサイクル

EU圏では、公道を走行する車両やモーターサイクルおよびそれらのコンポーネントは、型式認証を取得する必要があります。

- Eマーク・eマーク認証製品例：
  乗用車、モーターサイクル、ランプ類、カーオーディオ・ナビゲーションシステム類、ミラー類、チャイルドシート、ガラス、シートベルトなど
- マーク表示例：Eマーク E1、eマーク e1

農業用トラクターの型式認証

EU圏で使用される公道を走行する農業用トラクターは、2003/37/ECに基づき車両型式認証を取得しなければなりません。また、仕様によって試験項目や要求事項が異なります。テュフ ラインランドは、より効率的な認証取得をサポートします。

汎用エンジンの排ガス認証

EU圏では、道路を通行する車両以外に使用されるガソリン、ディーゼルエンジンにも排ガスに関する規制があります。テュフ ラインランド ジャパンでは、類似型式のエンジンを一つの申請にまとめるエンジンファミリの決め方、少数生産エンジンの扱い、過渡規定など、お客様の状況に適した方法をご案内しながら、認証取得をサポートします。

ドイツ国内法規認証／ABE・StVZO

EU指令やECEレギュレーションが、すべての自動車の構成部品の安全基準を網羅しているというわけではありません。これらに関しては、EU加盟各国によって要求内容が異なっています。テュフ ラインランド ジャパンでは、ドイツ運輸省が定める安全基準StVZOに基づき、ドイツ国内型式認可（ABE）取得をサポートします。

自動車・自動車部品の台湾認証サービス

台湾では、2006年7月よりECEレギュレーションに基づいた型式認可が施行されました。テュフ ラインランドは、台湾政府より外国認定試験機関の指定を受けています。これに伴い、日本でも台湾認証の試験サービスを提供しています。

ブラジル INMETRO 自動車部品認証

2013年1月より、ブラジルの道路走行車両に搭載される部品について、INMETRO 自動車部品認証取得が義務づけられました。対象車両・部品は順次拡大されます（2014年6月現在、タイヤ、ホイール、ガラス、ブレーキフルード、鉛バッテリー、ショックアブソーバー、燃料ポンプ、ホーン、エンジンピストン、ピストンリング、ピストンピン、サークリップ、エンジンベアリング、電球、ステアリング部品が対象です）。
テュフ ラインランドはOCP（認証機関）として、認証取得サービス（試験、工場監査、試験設備監査、認可証発行）を提供しています。

RCD（レクレーショナルクラフト、レジャーボート指令）

EU圏では、レジャーボートや水上バイクなどは従来の構造要件に加え、騒音と排気ガスについて公認機関（ノーティファイド・ボディ）の認証が義務付けられています（94/25/EC）。
テュフ ラインランドは、これらの試験や認証取得をサポートしています。

車両・車両部品の評価・試験・認証

適合性評価サービス

欧州騒音指令

EU指令2000/14/ECでは、屋外で使用される主な機器類に対し騒音に関する要件が定められています。メーカーは、各機器ごとに保証騒音値を決定し、CEマーキングとともに製品に表示しなければなりません。また、製品によっては、公認機関（ノーティファイド・ボディ）による確認が必要です。テュフ ラインランド ジャパンでは、測定方法、測定データのまとめ方、保証騒音値の決定方法を含め、証明書取得をサポートします。

全国自動車用品工業会　車両盗難防止装置指定試験機関

国土交通省が自動車盗難防止装置の保安基準の運用を開始したことを受け、全国自動車用品工業会（JAAMA）では、アフターマーケットにおける自動車盗難防止装置の自主基準登録制度を開始しました。テュフ ラインランド ジャパンは、この制度における指定試験機関として認定を受け、国内市場の自動車盗難防止装置の試験を行っています。

自動車部品およびその材料の各種試験・評価サービス

今日の自動車は基本性能や快適性だけでなく、使用される材料の毒性や有害性、環境への負荷といったさまざまな側面から数多くの要求を満たす必要があります。テュフ ラインランド ジャパンでは認証サービスに加え、各種構成部品、材料などの試験・評価サービスも提供しています。ISO，EN，DIN，JISなどのほか、メーカー規格や独自の規格についてもご要望にお応えします。

各種試験例：耐熱試験、耐候・耐光試験、臭気試験、耐薬品試験、
防水・防塵試験、振動試験、電磁適合性（EMC）試験など

エネルギー・化学物質対応 – コンプライアンス プラットフォーム

多くの部品・素材メーカーによって構成される自動車産業では、部品、素材、それらに用いられる化学物質に関する情報管理能力がビジネスパートナーや監督官庁から問われています。世界市場に持続的に輸出、供給していくためには、ELVやRoHS指令をはじめ、自動車業界全体が対象となるREACH指令にも準拠した生産工程、情報管理の確保が不可欠です。コンプライアンス プラットフォームは、ウェブブラウザを介してデータを一元的に管理するクラウド型データマネジメントツールです。ウェブベースの柔軟性に富んだシステムのため、蓄積情報の管理や分析は、場所や時間を問わず容易に行えます。多くの自動車メーカーがELV指令への適合管理、レポーティングに用いているIMDSへの接続性も確保されています。効率的なコンプライアンス分析が可能になり、コスト削減、競争力アップをサポートします。

➡ インターネットサービスのページ(P.66)もご覧ください。

電気自動車

テュフ ラインランド ジャパンは、電気自動車やバッテリー、充電システム、部品の試験・評価サービスを提供しています。

適用規格：

車両型式認証　2007/46/EC, 2002/24/EC, ECE R100, ECE R100.02, ECE R10
電気自動車　EN/IEC 61851-1, -21
充電システム　EN/IEC 61851-1
充電器　EN/IEC 61851-1
充電コネクタ　EN/IEC 62196-1
充電ケーブル　HD21, ISO 14572, EN 50306
再充電可能エネルギー貯蔵システム（2016年中頃より適用予定）

電気自動車は新しい技術分野であるため、新しい規格が随時発行されています。
テュフ ラインランド ジャパンはドラフト段階の規格に沿った試験、評価も可能です。

リチウムイオン電池評価

大型蓄電池の分野ではますます技術開発が進んでおり、車載用リチウムイオン電池の需要も、世界規模で堅調に成長しています。リチウムイオン電池の評価には高度な技術と安全性が要求されますが、テュフ ラインランド ジャパンの自動車用リチウムイオン電池の試験設備では、長期寿命試験、機械的・電気的安全性試験に加え、環境試験を実施しています。

テュフ ラインランド ジャパンの電池試験の範囲は以下の通りです。

- 国連（UN）の危険物輸送の規制勧告に基づく国連試験基準マニュアルパート3（38.3リチウム電池）
- 電気用品安全法
- IEC 61960, IEC 62133, IEC 62281, IEC 61959, IEC 62660-1, -2
- JIS C 8711, JIS C 8712, JIS C 8713, JIS C 8714, JIS C 8715-2
- UL 1642, UL 2054
- SAE J2464
- BATSO 01
- 電池工業会 SBA S1101
- QC/T 743-2006
- UNECE R100 Revision 2
- その他の規格、および規格によらない研究開発試験などの特殊条件はご相談ください。

鉄道システム

日本の鉄道システムの海外展開に向け、各国で必要な認証取得、第三者安全審査 (ISA)、コンサルティング、適合性評価、環境・EMC試験など、各種鉄道システムの評価・認証をトータルに提供いたします。

サービス内容(例):

- 鉄道システム・サブシステムおよび関連製品・部品の認証 (TSI、EBAなど)
- 第三者安全審査 / ISA (各種鉄道システム、信号、ブレーキなど)
- 鉄道システム・サブシステムおよび関連製品・部品の環境試験・EMC試験など
- 安全・品質に関する国際規格、各国規格 (DIN、ISO、CEN、CENELEC、IEC、BSなど) に基づく試験・認証
- RAMS規格の審査、コンサルティング、トレーニングなど
- 鉄道産業界における品質マネジメントシステム (IRIS) 認証
- 鉄道車両と車両部品の溶接に関するDIN EN 15085規格に基づく認証
- 鉄道車両の耐火性に関するEN 45554、DIN 5510などに基づく試験、認証
- 各国鉄道プロジェクトの入札支援

適用規格(例):

TSI認証 - 2008/57/EC
RAMS - IEC 62278 (EN 50126)、IEC 62279 (EN 50128)、
IEC 62425 (EN 50129)、IEC 62280 (EN 50159)
環境試験・EMC試験 - EN 50121、EN 50124, EN 50125、EN 50155 など
鉄道溶接認証 - EN 15085
鉄道防火 - EN 45545、DIN 5510、BS 6853、NF F 16 など

企業の社会的責任、サステナビリティへの要求に応えていくには、環境対策は不可欠です。世界各国・地域において、環境規制はさらに厳しくなっています。テュフ ラインランドはこうした規制へ対応し、企業としての環境対策全体についてもサポートしています。

放射性物質含有検査

テュフ ラインランドは、原子力の応用技術分野において、その平和的利用が開始された当初からドイツの試験機関として積極的に活動を行っています。高精度の機器を使用し、専門知識と経験、技術を活かした放射能計測により、製品や環境の安全度を測定します。また、放射能測定プロセスや防護体制の構築を支援し、認証の発行も行っています。

サービス内容：

- 放射能の出張測定（環境検査、製品検査など）
- サンプルの含有放射能測定（食品、土壌など）
- 放射能測定プロセスの評価・認証
- 技術トレーニング、セミナーの開催
- 食品関連企業向け放射性物質測定の実務者研修・認証

REACH - 欧州化学物質規制

REACHはEUで販売されるほぼすべての化学物質に適用される規則で、対象となる企業に安全評価・情報登録が義務づけられます。REACH規則の対象は、化学物質そのものだけではありません。EU市場に流通する成形品（すなわち製品）も対象であり、製品から放出する可能性のある有害化学物質も規制します。REACHは、2007年6月1日より施行され、ECHA（欧州化学物質庁）をフィンランドのヘルシンキに設置、2008年より登録を開始しました。

REACH規制対応は、さまざまな技術や知識を要することや、その複雑さから、企業にとって大きな課題となります。テュフ ラインランドは、グローバルなネットワークと実績を活かし、スムーズな化学物質の登録申請をお手伝いします。コンサルティングから登録、試験・分析など、あらゆる段階でのサービスを通じて、製造業者や輸入者、販売業者のREACH対応を効率良くサポートします。

※化学物質の登録サービスは、Luxcontrol社との提携により提供しています。

PAH（多環芳香族炭化水素）評価

PAH（多環芳香族炭化水素）評価はGSマーク認証に必須の評価です。テュフ ラインランドは、PAH評価の必要性を判断するためのリスクアセスメントや、PAH試験を行っています。

RoHS/WEEE指令

RoHS指令は、電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する規則です。テュフ ラインランドはRoHS指令の適合性評価の公認機関であり、蛍光X線分析による迅速なスクリーニング試験と標準試験法を適切に組み合わせることで、高精度な制限物質検査を行います。テュフ ラインランドが発行する検査報告書と認証書によって、貴社製品のRoHS指令への適合と正当性を証明することができます。また化学物質の分析やサプライヤ工場検査などマネジメントのサービスも提供しています。欧州RoHS、中国RoHS、韓国RoHSに加え、J-Moss(JIS C 0950、通称日本版RoHS指令)にも対応します。
また、WEEE指令対応のため、製品のリサイクル性、分解性、リサイクル・リカバリー率および分解マニュアル評価も行っています。

化学物質分析

テュフ ラインランドは、衣料品、玩具、プラスチックや金属、汚染排気物質など、あらゆる種類の化学分析を行っています。第三者による試験により信頼性のある化学的安全性を示すことができます。

➡ 生活・家庭用品評価のページ(P.54)もご覧ください。

製品の省エネ関連評価

テュフ ラインランド ジャパンは、国内・海外向け製品の省エネ関連評価・認証サービスを提供しています。仕向け国の規制情報等については、海外ネットワークを通じた調査サービスも行っています（例：欧州、中国、韓国、香港、東南アジア各国、インド、北米、南米）。
➡海外最新規制調査・情報提供サービスのページ(P.17)もご覧ください。

省エネ関連評価サービス例
- （米国）エネルギースタープログラム（主にオフィス製品）
- （米国）カリフォルニア州　消費電力効率規制（バッテリーチャージャー・外部電源など）

エコデザイン指令 2009/125/EC

エコデザイン指令はErP指令とも呼ばれ、エネルギーに関連する製品に適用される指令です。エコデザイン指令にはエネルギー効率に関する各種規則があり、CEマーキングのために適合が必要です。テュフ ラインランドは、適合性評価のためのご相談を受けるとともに、適合性試験・評価サービスを提供しています。

グリーンプロダクト・マーク

従来のデザイン

新しいデザイン

テュフ ラインランドは、環境に優しい製品に対してグリーンプロダクト・マークを発行しています。グリーンプロダクト・マークは、消費財が環境に与える影響を最小限にすることを目的とした任意マークです。消費財に付けられ、消費者が購入する際に環境に優しい製品であることがわかります。このマークは、ブルントラント委員会(1984年に国連に設置された「環境と開発に関する世界委員会」)の持続可能な開発というコンセプトに則り、関連認証要求とともに、持続可能性に関するさまざまな規制や要求事項への適合を証明するものです。このマークを取得することで、環境および持続可能な社会に対する企業の取り組みを証明することができます。

ブルー・エンジェル・マーク

環境への配慮という観点から特に優れた製品に与えられるドイツの環境マークです。テュフ ラインランドでは、ブルー・エンジェル・マーク認証に必要なテストレポートの発行を行っています。

エネルギー関連評価

適合性評価サービス

Green IT

テュフ ラインランド ジャパンは、データセンター向けエネルギー効率の評価・認証サービスを提供しています。サービスは測定・分析と認証の2つで構成されます。包括的分析とモニタリングサービスにより、CO_2排出量の削減についてもアドバイスいたします。長期間にわたりエネルギー消費量とコストを下げることは、企業イメージを向上させることにもつながります。
➡ マネジメントシステム認証のページ(ISO 50001　P.58)もご覧ください。

燃料電池の安全性評価

EU市場に家庭用燃料電池コジェネレーションシステムを出荷するには、該当する欧州指令に適合する必要があります。そのための欧州指令のひとつが、ガス燃焼機器指令2009/142/EC（旧90/396/EEC）です。また北米市場では、消費者向けの燃料電池は、ANSI Z21.83「燃料電池発電所」規格への適合が要求されます。テュフ ラインランドは、EU、アメリカ、カナダ向けに、欧州指令（およびその整合規格）およびANSI Z21.83や、米国電気工事規定（NEC）第692条などの規格・ガイドラインに従って、試験サービスを提供しています。

対象製品
- 家庭用燃料電池コジェネレーションシステム（家庭用定置型燃料電池）
- 産業用定置型燃料電池
- 車載用燃料電池
- 可搬形（ポータブル）燃料電池
- マイクロ燃料電池

また、該当する指令の対象となる各種部品類（バルブなど）についても対象にしています。規制に関する安全面のコンサルティング、規制および規格への適合性評価など、燃料電池の開発・評価について幅広いサービスを提供します。

CDM（クリーン開発メカニズム）

テュフ ラインランドはUNFCCC（国連気候変動枠組条約）に認められた指定運営組織（DOE）として、温室効果ガス削減を目指すクリーン開発メカニズム（CDM）の全専門部門の有効化審査（バリデーション）および検証（ベリフィケーション）の業務を実施しています。また、JI（共同実施）、VER（自主的排出削減）のプロジェクトについてもGold Standard、VCSなどに基づき、同様の業務を提供しています。

ISO 14001、ISO 50001 環境・エネルギーマネジメントシステム

➡ マネジメントシステム認証のページ(P.58)をご覧ください。

輸入食品への依存度が際立って高い日本では、安全な食料確保への取り組みが喫緊の課題です。テュフ ラインランドでは、各国の法規、マーケットニーズに精通した専門スタッフが食品安全への取り組みをサポートします。

ISO 22000 食品安全マネジメントシステム

“農場から食卓まで” フードチェーン全体を対象とした食品安全のための国際規格です。

➡ マネジメントシステム認証のページ(P.62)をご覧ください。

HACCP

HACCPとは、食品製造をする上で発生しうる危害を分析し、重要度が高いと判定されたポイントを中心に工程管理していくことにより、安全でない食品の出荷を未然に防ぐ手法であり、食品安全手法として世界的に認められた概念です。テュフ ラインランドでは、コーデックス・アリメンタリウス（CAC-RCP 1-1969 Rev.4 2003）を基準として、その「食品衛生の一般原則」および「HACCP7原則12手順」に基づいた認証を行っています。海外で知名度の高いテュフ ラインランドのHACCP認証は、世界市場に進出される企業を強力にサポートいたします。
また、ISO 9001との統合での監査をご希望の場合は、品質・安全両面の取り組みを総合的に監査するプログラムの提供も可能です。

ISO 9001 品質マネジメントシステム

HACCPの要素を加えた食品関連組織向けのISO 9001認証を実施しています。

➡ マネジメントシステム認証のページ(P.58)をご覧ください。

欧州リテーラー関連・食品安全関連規格

➡ マネジメントシステム認証のページ(P.62)をご覧ください。

食品検査

テュフ ラインランドの食品化学検査ラボは、国際認証を受けており、食品やフードコンタクト（食器、玩具など）の安全に関するさまざまな分析試験、検査サービスを提供しています。現在、台湾（高雄）、ベトナム（ホーチミン）、中国（福州、青島）、香港、ドイツ（ケルン、ニュルンベルク）、ポーランド（クラカウ）にラボを開設しています。ドイツの化学分析ラボ（TÜV Rheinland LGA Products GmbH、ケルンおよびニュルンベルク）、香港の玩具ラボ、およびタイの化学分析ラボは、厚生労働省の輸出国公的検査機関として指定されており、食品衛生法に基づいた分析検査、証明書の発行にも対応しています。台湾、ベトナム、中国など、生産国で日本向けの食品の安全性を確認しておくことで、輸入時の不要なトラブルを回避することができます。

➡ 調理器具・フードコンタクトマテリアル（食品に接触する素材・製品）のページ(P.55)もご覧ください。

➡ インターネットサービスのページ(P.66)もご覧ください。

テュフ ラインランド ジャパンは、食品の放射性物質含有検査も行っています。

➡ 環境対策・化学評価のページ(P.48)をご覧ください。

コンプライアンス プラットフォーム

食品の安全性向上には、トレーサビリティの確保が不可欠です。コンプライアンス プラットフォームは、ウェブベースのデータマネジメントツールです。既存の製品カルテに原材料やサプライヤの情報、社内外のコミュニケーション履歴を紐付け、一元的に管理することで、生産から消費まで、食品ライフサイクル管理の透明性を高めます。

➡ インターネットサービスのページ(P.66)をご覧ください。

テュフ ラインランドは、生活・家庭用品、スポーツ用品、自転車、工具、アウトドア用品などに対するさまざまな試験サービスを提供しています。
校正の行き届いた試験設備で、部品から大型製品まで試験・評価を行います。日本をはじめアジア各国に試験所を展開しており、生産国でのスムーズな検査が可能です。
また、小売業者のための、海外市場進出サポートも行っています。
➡ 海外最新規制調査・情報提供サービスのページ(P.17)もご覧ください。

家具

テュフ ラインランドは、あらゆる種類の家具の評価に対応しています。材料から部品まで試験・検証を行い、安全性試験済み製品のためのGSマークなど、さまざまな適合証明書を日本で発行します。また、TOXPROOFマークで、製品が無害であることを顧客に示すことができます。テュフ ラインランドは、欧州標準化委員会（技術委員会CEN TC 207）やISO TC 136などの国家および国際的な家具委員会に加盟しています。
日本をはじめ、ドイツ、中国、香港、ベトナム、タイのラボラトリーでは、EN 1335、ANSI / BIFMA、JIS規格などに準拠した試験を実施します。
家庭用に限らずオフィス家具など業務用製品も対応しています。

玩具

玩具の検査および認証は、玩具安全指令2009/48/ECをはじめ、欧州で広く採用されている規格や国際規格（EN 71、EN 62115、ASTMF 963、CPSIAなど）に準じて行います。機械的、電気的、化学的試験により、ぬいぐるみから模型列車に至るまで、すべての玩具の品質と安全性を検査します。ドイツ、香港、タイのラボラトリーは、厚生労働省の輸出国公的検査機関として指定されており、食品衛生法に基づいた分析検査、証明書の発行にも対応しています。

主なサービス：

- 海外進出のための法規制調査
- 玩具安全指令適合のための製品開発サポート、安全性試験・評価
- 欧米で認められた当社独自の玩具安全規格 — TOY Proof / TOX Effect Analysis
- ラボラトリーでの物性試験、化学試験
- 工場評価、品質管理代行（生産立会い、抜き取り検品など）

生活・家庭用品評価

適合性評価サービス

調理器具・フードコンタクトマテリアル（食品に接触する素材・製品）

食器や調理器具をはじめ、食品製造機械など、食品に接するものに対してはEU規制があります。具体的には、プラスチック保存容器やお菓子のパッケージ、また、製造・加工する機械や包装機器などが対象となります。テュフ ラインランドは、欧州向けおよびその他の国の要求事項に対する試験の実施、テストレポートおよび適合証明書発行など、お客様のスムーズなマーケット参入をサポートします。

対象製品：
食品加工・包装機器、容器類、食器・カトラリー、調理器具、調理家電、包装材料、飲用・食用の水と接触する製品および材料

食品と接触する素材・製品に対する規制 - 欧州連合(EU)：

-EC No.1935/2004：素材の基本的な要求事項
通常の使用条件の下で、▪ 人の健康を危険にさらす、▪ 食品の構成に許容範囲以上の変化をもたらす、▪ 食品の官能特性（味、匂いなど）に変質を引き起こしたりするような食品への成分移動があってはならない、とされています。

-EC No.2023/2006
食品と接触する物質および製品のGMP (Good Manufacturing Practice、適正製造規範)では、メーカーは、GMPの一般的規則および詳細な規則を遵守し、法規を熟知しなければならないとされています。

その他、EU加盟国には、個別の要求事項を設けている国々があります。
テュフ ラインランドは、厚生労働省による規制に対するサービスも提供しております。
➡ 食品安全評価のページ(P.53)もご覧ください。

化粧品・スキンケア製品

テュフ ラインランドは、化粧品、トイレタリー、スキンケア製品に関して第三者検査機関としての専門的な分析・試験を実施しています。含有物の分析、データ解析、パッケージの科学物質検査など、品質や安全性を評価し、国内外の規制対応をサポートしています。

グローバルネットワークを活用し
世界に通じる認証書を発行します

マネジメントシステム認証サービス

マネジメントシステム認証

主なマネジメントシステム規格
情報セキュリティ
サプライチェーン セキュリティ
統合マネジメントシステム
食品安全関連規格

カスタマイズサービス（第二者監査）

サプライヤ監査（CSR、CoC、ESG、HSE 監査など）
ディーラー監査（ディーラースタンダード監査、ミステリーショッピング）

テュフ ラインランド ジャパンは、各種マネジメントシステム規格による認証で、貴社のプロセス改善、リスクマネジメントをサポートします。

■ 主なマネジメントシステム規格 ■

ISO 9001（品質）

ISO 9001（品質マネジメントシステム）は、顧客満足度の向上を目指し、顧客の要求する製品・サービスを提供するため、継続的に製品やサービスの質ならびに業務プロセスを維持、改善し続けることを定めた国際規格です。
多様化かつ高度化していく顧客のニーズを満たすため、高品質の製品・サービスを継続的に提供していく必要があります。ISO 9001を運用することにより、顧客やマーケットのニーズに応えることができます。

ISO 14001（環境）

ISO 14001（環境マネジメントシステム）は、組織の活動、製品、サービスが直接または間接的に環境に与える影響を低減し、環境へ悪影響を与える事故の発生を予防するため、継続的にマネジメントシステムを改善し続けることを求めた国際規格です。
環境マネジメントシステムを構築し、環境適合性を向上させることにより、さまざまなステークホルダーからの環境に関する要求を満たし、経営上のメリットを生み出すことができます。

BS OHSAS 18001（労働安全衛生）

労働安全衛生（Occupational Health & Safety = OHS）マネジメントシステムは、職場における労働衛生災害リスクの低減と、将来の発生リスクを回避するため、継続的にマネジメントシステムを改善し続けることを求めた規格です。OHSASの導入により、事故発生の危険を減らし、災害によるマイナスコストを削減することができます。また、ステークホルダーに安全・衛生に対する真摯な取り組み姿勢をアピールすることが可能です。

ISO 50001（エネルギーマネジメント）

ISO 50001/EN16001は、企業などが利用・排出するエネルギーの総合的な管理を目的としています。このシステムの導入でエネルギー効率の改善、エネルギーコストの削減が期待できます。ISO 9001やISO 14001と並ぶ重要なマネジメントシステムになると言われています。この規格の活用によりエネルギー効率を継続的に高めることが可能になります。

ISO 13485（医療機器）

ISO 13485は、医療機器を扱う企業に向けてISO 9001をベースに医療機器特有の要求事項や各国の法的規制要求との親和性が考慮された国際規格です。国内のみならず世界的な規模で広く医療機器を製造するメーカーに対して、ISO 13485に適合した品質マネジメントシステムの構築がますます求められます。

ISO/TS 16949（品質－自動車業界）

ISO/TS 16949は、ISO 9001をベースに、自動車業界特有の要求事項を付加し、サプライチェーンによる欠陥の予防、ばらつきや無駄の低減を求めた国際規格です。自動車のサプライチェーンにおける製品およびプロセスの品質を改善させることができ、サプライヤの品質の信頼性を国際的にアピールし、ビジネスの機会を拡げることができます。

EN 9100（品質－航空宇宙産業）

EN 9100は、ISO 9001をベースに、航空宇宙産業特有の要求事項を付加した規格です。厳しい安全基準が要求される航空宇宙産業において、サプライヤにはEN 9100への適応が必須となっています。

ISO 29990（学習サービス）

ISO 29990は、2010年9月1日に発行された、非公式教育および訓練における学習サービスの国際規格です。ヨーロッパ、日本では、学習塾や語学学校、通信教育、人材開発・資格取得学校などで認証取得が進んでいます。

BCMS ISO 22301（事業継続マネジメントシステム）

BCM（事業継続マネジメント）とは、自然災害やテロなど、事業の存続を脅かす事態に対し、迅速かつ効果的に対処し、事業を確実に継続させるための戦略的な運営管理手法を指します。計画・文書化を行うのがBCP（事業継続計画）です。

➡ サービスの流れのページ(P.81)もご覧ください。

■ 情報セキュリティ ■

ISMS ISO/IEC 27001（情報のセキュリティ）

ISO/IEC 27001:2005は情報資産の保護マネジメントのための国際規格で、「情報セキュリティマネジメントシステム」（ISMS）の要求事項を定義しています。情報セキュリティとは、組織が有効に機能するために必要な、すべての重要な情報の機密性、完全性、可用性を保護することです。

ITSMS ISO/IEC 20000-1（ITサービスマネジメント）

ITSMS-ITサービスマネジメントシステムは、ITサービス運用管理の品質、ITサービスの信頼性の向上を目的とした国際規格です。この規格の導入・運用と認証取得により、サービスレベルの明確化、改善、サービス停止のリスク低減によるコスト管理・サプライヤ管理の徹底が図れます。

■ サプライチェーン セキュリティ ■

ISO 28000シリーズ（サプライチェーン セキュリティ マネジメントシステム）

ISO 28000は、製品の出荷からエンドユーザーに届くまでの輸送手段・情報の流れ・貨物の保安レベルの向上を目的とした規格です。テュフ ラインランド グループは、そのグローバルネットワークを通じ、サプライチェーンにおけるセキュリティマネジメント監査を実施します。

C-TPAT（テロ行為防止のための税関産業界提携）

テュフ ラインランド ジャパンは、米国税関・国境警備局（CBP）から、C-TPAT実地調査（validation）を実施する第三者認証機関として指名されています。
C-TPATは、サプライチェーンのセキュリティを強化し、CBPがリスクの高い分野に注力するために、CBPと産業界の協力の下で設立されました。顕在化するテロリストの脅威や国際流通産業の変化に対応するための、ダイナミックで柔軟性のあるプログラムであり、継続的な実行可能性、有効性と適合性が確保されています。

TAPA

TAPAは、ハイテク・高付加価値商品の保管・輸送中の紛失・盗難などでの損失防止を目的に、1997年、アメリカで設立された非営利団体です。2007年にはTAPAアジア日本支部が活動を開始しています。テュフ ラインランド ジャパンはTAPA認証の審査機関として指名されています。また、審査員・内部監査員要請トレーニングやセキュリティ関連セミナーを実施しています。

AEO・JAEO制度

AEO・JAEOは、国際物流におけるセキュリティ確保と円滑化の両立のため、貨物のセキュリティ管理と法令遵守の体制が整備された事業者に対し、税関手続の緩和・簡素化策を提供する制度です。テュフ ラインランド ジャパンはAEO資格取得のサポートをいたします。

統合マネジメントシステム

複数のマネジメントシステムを統合する統合マネジメントシステムは、企業の体質強化を具現化する効果的なツールです。認証を効果的に取得する、あるいは取得済みの認証を有効活用して複数の規格を取得するだけのものではありません。
複数のマネジメント規格を熟知したテュフ ラインランドの監査員による複合監査で、貴社の統合マネジメントシステムの導入を強力にバックアップします。

複合監査のメリット

- ■ 企業内の効率化
  - – 経営目標とマネジメントシステム目標に一貫性を持たせます。
  - – 内部監査などの重複作業を削減し、業務の効率化につながります。
- ■ 監査の効率化
  - – 監査回数が年に一度で済みます。
  - – 監査時間や管理責任者、各部門などの対応時間が短縮できます。
- ■ 費用の削減
  - – 申請料や認証書発行費用が低減されます。
  - – 監査費用が低減されます。

➡ サービスの流れのページ(P.81)もご覧ください。

■ 食品安全関連規格

ISO 22000（食品安全）

ISO 22000（食品安全マネジメントシステム）は、農畜産物や水産物など原材料の生産から、食品の製造・加工、流通、フードサービス、さらには、食品加工機器や包装容器の製造、飼料・肥料の製造を含めたフードチェーン全体を対象として、“農場から食卓まで”の食品安全を可能にする国際規格です。
食品安全マネジメントシステムを運用することにより、一般的衛生管理のみならず、ハザード分析からHACCPプランの展開、回収を含めた緊急事態の対応ほか、食品関連企業に要求されている事項をシステムとして管理していくことが可能となり、組織の食品安全管理に対する国内外からの信頼を得ることができます。

GFSI 承認食品規格

FSSC 22000

オランダの食品安全認証財団が保有するスキームであり、EU食品・飲料産業連合（CIAA・現：Food Drink Europe）の支援を受け、ISO 22000:2005とISO 22002-1:2009（食品製造のための食品安全に関する前提条件プログラム）を組合せて開発されたものです。
ISO 22000が規定しているHACCP手法とシステムマネジメント要素、PRPの詳細な前提条件プログラムの合体により、より高い安全レベルを目指す企業に対応するスキームです。
テュフ ラインランド ジャパンのFSSC 22000認証サービスは、PAS 223規格に基づく食品包装材製造にも対応しています。

IFS International Food Standard

PB（プライベートブランド）製品のサプライヤ監査基準として利用されることを目的に、ドイツを中心にフランス、イタリアの小売業協会によって共同で開発された国際食品規格です。
食品安全のみならず品質に関する要求事項も含まれています。
テュフ ラインランド ジャパンは、IFS食品に加え、IFS物流、IFS代理店、IFS消費材、IFS包装材規格にも対応しています。

BRC Global Standard For Food Safety

英国小売協会が開発した規格であり、GFSI認定規格のなかでも、EUをはじめ米国、アジアなどにおいても最も広く普及している規格です。IFSと同様、食品安全のみならず、食品品質も取り扱った規格で、アレルギー物質や遺伝子組換え作物の識別を含むトレーサビリティシステム、回収のための要求事項が含まれた、HACCPベースのマネジメントシステム規格です。
テュフ ラインランド ジャパンは、BRC食品に加え、BRC消費材、BRC包装および包装資材規格にも対応しています。

サプライヤ監査（CSR、CoC、ESG、HSE監査など）

企業の社会的責任（CSR）は、組織活動が社会へ与える影響に責任を持ち、あらゆる利害関係者（顧客、消費者、従業員、取引先や地域社会、投資家など）からの要求に対して適切な意思決定を行い、行動に移すことにより果たされると考えられます。また、企業のブランド価値の維持のため、サプライチェーン全体の一貫した管理の必要性が高まっています。
テュフ ラインランドのカスタマイズサービスにより、サプライチェーンマネジメントの強化、サプライヤとのさらなる信頼関係の構築が可能となります。

テュフ ラインランドは、グローバルネットワークを活かし、日本国内をはじめ、世界各国でサプライヤ監査代行サービスを提供しています。

- 企業の社会的責任（CSR）、行動規範（CoC）、ESG（環境・社会・ガバナンス）、HSE（労働衛生・安全・環境）などの第二者監査
- GFSI食品品質・安全監査

顧客の要求条件や社内基準、取引先基準などに合わせて、テュフ ラインランドの専門家は、監査プログラムの策定から実施、結果報告、継続的改善まで支援いたします。

1. 監査ガイドラインや評価基準の決定
貴社の要求条件を取り入れた監査ガイドラインの策定やチェックリストの作成を行います。

2. 監査員の研修
上記ガイドラインによる監査遂行のため、担当監査員（場合により貴社の監査員も含まれます）の研修を行います。

3. 監査の実施
貴社サプライヤとスケジュールを調整し、現場での監査を実施します。

4. 報告
監査終了後、監査報告書を提出いたします。必要に応じ、日本語による監査報告書も作成いたします。また、テュフ ラインランドのオンラインプラットフォームをご利用いただき、インターネット経由で監査結果をダウンロードいただくことも可能です。定期監査を実施することにより、継続的な改善を図ることが可能です。

カスタマイズサービス（第二者監査）

ディーラー監査（ディーラースタンダード監査、ミステリーショッピング）

テュフ ラインランドは、長年の監査実績やノウハウに基づき、自動車業界に特化したサービスも提供しています。自動車（バイク）販売店、一般修理工場、板金塗装工場（BP）に向け、監査、ミステリーショッピング、トレーニング、コーチング、コンサルティングなどを提供します。

- **監査サービス**
  お客様のご要望に応じた監査基準や、テュフ ラインランド独自の監査基準により、ディーラー、工場を監査し、パフォーマンスを可視化します。修理サービスなどの品質監査も行います。
- **ミステリーショッピング**
  ディーラーのセールス対応やオペレーションを顧客目線で評価します。
- **トレーニング**
  監査結果の向上には、適したトレーニングが不可欠です。監査内容に基づき、的確なトレーニングを提供いたします。
- **コーチング、コンサルティング**
  監査を導入する際の、被監査側の意識付けから、監査結果に基づくフォローアップまで、ご要望に応じて対応いたします。
- **オンラインレポートシステムMWAS (Mobility Workshop Assessment System)による効率的なレポート提出**
  大量の写真が添付された監査結果の電子ファイルのやりとりは、監査後のお客様の負担を増大させます。テュフ ラインランドで行う監査、ミステリーショッピングの結果は、独自のシステムであるMWASを用いて、自動的にレポートを作成し、お客様と共有いたします。監査結果のグラフ化、一覧表化、平均値の算出などが自動で行え、KPI管理が瞬時に行えます。

貴社システムの効率化や信頼性向上の
ベネフィットがあります

付加価値サービス

インターネットサービス

オンライン認証データプラットフォーム -Certipedia
コンプライアンスプラットフォーム

試験サービス

製品信頼性評価
部品信頼性試験
エルゴノミクス評価
IP（防塵・防水性）試験
環境試験（温・湿度、衝撃試験）

試験設備

ラボラトリー

電気製品安全ラボラトリー
EMC ラボラトリー
通信機器ラボラトリー
系統連系保護装置評価センター
太陽光発電ラボラトリー
バッテリー試験ラボラトリー
放射性物質含有分析ラボラトリー

ラボラトリー認定

品質管理（工場検査）サービス

トレーニング・資格認定制度

オンライン認証データプラットフォーム - Certipedia（旧TUVdotCOM）

Certipediaは、テュフ ラインランドが安全や品質に関して試験・認証した製品、サービス、システムなどを開示したインターネットプラットフォームです。情報へのアクセスレベルは個別に設定が可能で、Certipediaプラットフォームは、書類管理や顧客・サプライヤとの情報交換にも利用することができます。

従来のデザイン

新しいデザイン

- Certipediaのウェブサイトは、www.certipedia.comでアクセスでき、10桁のID番号、または認証書番号、会社名、製品名、モデル名などで認証製品や認証企業の情報が検索できます。またQRコードからもアクセス可能です。
- ID番号を取得すると、広告、カタログ、ウェブサイトなどに使用でき、貴社の製品やサービスの販売を促進します。

➡テュフ ラインランドの新しい認証マークのページ (P.8) もご覧ください。

コンプライアンス プラットフォーム

TÜV Rheinland Compliance Platform(コンプライアンス プラットフォーム) は、個々の製品がもつ生産履歴、原料情報、法基準への適合性などに関するデータ、ドキュメントをテュフ ラインランドが厳重に管理するサーバーに保管し、それらを分析して生産効率向上をサポートするクラウド型データマネジメントツールです。電気、自動車、化学、食品など産業分野を問わず、製品とそれらを構成する原材料、部品やメーカー、流通業者のコンプライアンス情報をダイナミックに紐付けし、データの一元管理、履歴の共有などを容易に実現します。ウェブブラウザ上で動作するツールのため、ユーザーはソフトウェアやシステムのメンテナンスを気にする必要がなく、少ない初期投資、維持管理費で効率的なデータ管理が行えます。サプライヤ、メーカーなど社内外の複数のユーザによる一元的な情報共有もできるため、RoHSやREACHなどの化学物質情報管理ツールとしても最適です。

➡ 車両・車両部品の試験・評価のページ (P.45) もご覧ください。

➡ 食品安全評価のページ (P.53) もご覧ください。

品質は、製品寿命を通じて保証されるべき、重要なセールスポイントです。
製品のライフサイクル全般を対象とした第三者による耐久性試験、性能試験、安全性試験やユーザビリティ試験を行うことにより、優れた製品の特長を評価、確認することができます。
テュフ ラインランドでは、ご要望に応じて、日本・海外の試験施設などで、実際にエンドユーザーが使用する状況に基づいた試験を行っています。

製品信頼性評価

製品寿命シミュレーションは、試作過程、量産過程における耐久性、性能ユーザビリティの評価を通じて、アフターケアの膨大なコスト削減を実現します。

メリット：
- 製品やブランドの信頼性向上
- 製造物責任のリスク防止
- 顧客満足度の充実

試作品試験

長期耐久性の評価については、通常の使用条件もしくは極めて過酷な条件下で、製品の寿命ストレス試験を行います。テュフ ラインランドは、さまざまな環境試験および機械試験を実施できる設備をそろえています。加速試験では、通常使用を想定し、完全自動化された動作サイクルでシミュレーションを行います。

性能試験

国際規格や社内規格、市場の要求に基づいたオーダーメードの試験プログラムを提供します。現実の使用条件における製品の性能に関する貴重な情報となります。

操作性・ユーザビリティ評価

取扱説明書から操作ボタンの位置・形状および画面上のメニュー表にいたるまで、ユーザビリティを評価します。

試験撮影

規格に準ずる試験や、製品特性を強調した試験を映像として記録するサービスです。

部品信頼性試験

高い信頼性が要求される部品に対し、次の試験を行っています。

- 部分放電試験
- 耐トラッキング性試験
- グローワイヤ試験
- 耐候性試験
- 塩水噴霧試験

エルゴノミクス評価

テュフ ラインランド ジャパンは、モニター、ノートPCやその周辺機器（プリンタ、スキャナなど）について、国際エルゴノミクス規格に基づき、試験・評価を行っています。GSマークなど製品認証に要求されるエルゴノミクス評価だけでなく、次の試験およびサービスも行っています。

- TCO Display 認証、TCO Notebooks 認証、TCOプロジェクター認証、TCO認証試験（エコロジー評価含む）
- EN 50332-1/2（オーディオ機器の音圧規制）
- AAPM TG18（FDA申請用：医療用モニター）
- DIN V 6868-57 予備資格試験（医療用モニター）
- JEITA ITR-3003、JEITA ITR-3004（静電気、電界、磁界に関する要求事項：旧 JEIDA G11、G15）
- コピー機などの騒音測定（ISO 7779）

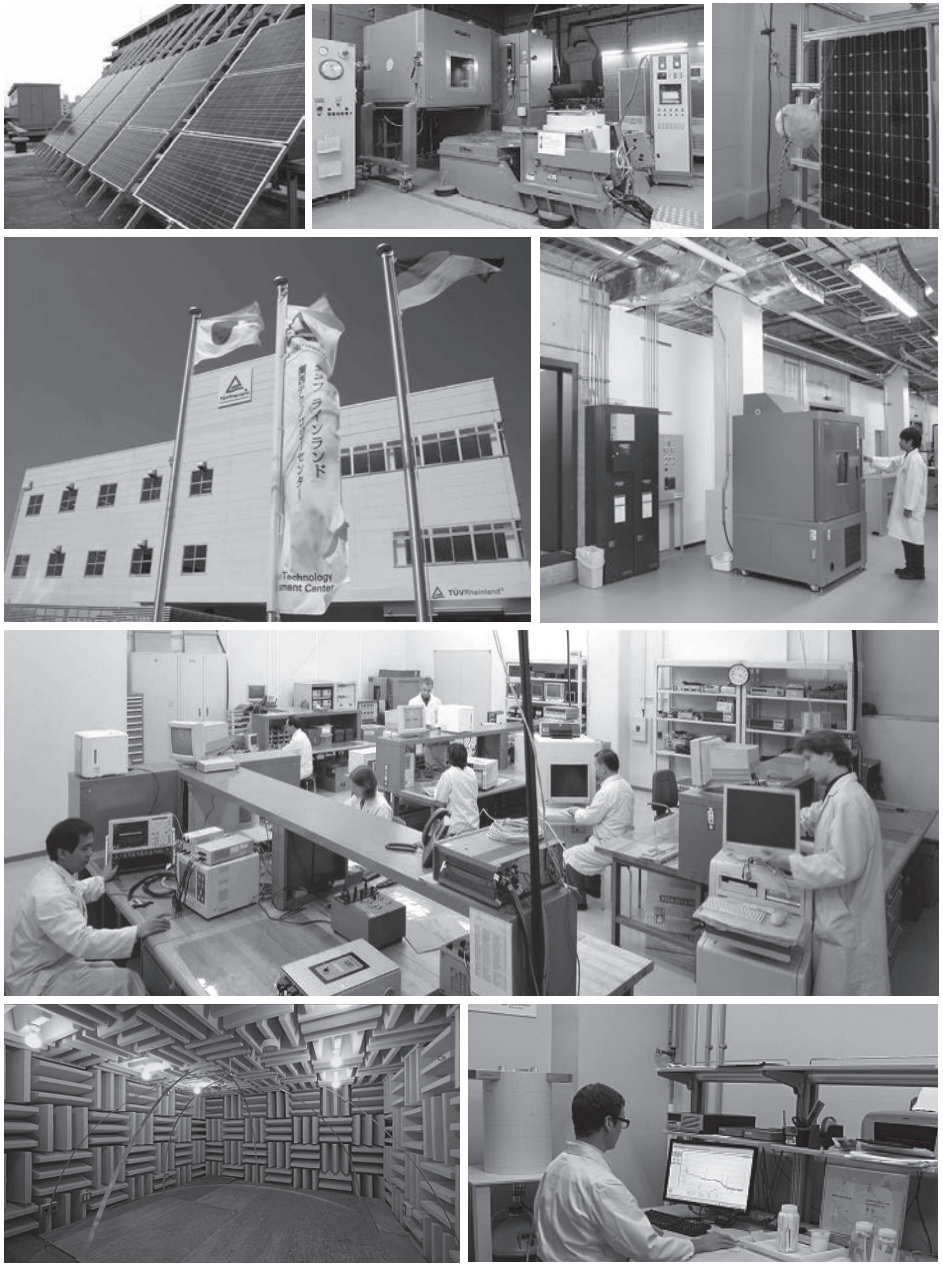
その他、お客様のご指定条件での試験サービス

IP（防塵・防水性）試験

多くの産業電子機器、オフィス電気機器、家庭用電気機器の保護性や防水の評価が重要になっています。
テュフ ラインランド ジャパンは、外来異物（鋼球、鋼線、塵埃、水など）からの保護の度合いを等級で表すIP試験サービスを提供しています（IP1X～6X、IPX1～X9Kまで対応）。

環境試験（温・湿度、衝撃試験）

環境試験は、製品の信頼性を確認するために欠かすことができない試験です。また、製品寿命限界特性の評価を含め、製品開発や製造のいたる段階で必要な試験といえます。
テュフ ラインランド ジャパンは、小さな部品から大型製品まで、各種環境試験（温・湿度試験、温度衝撃試験、耐衝撃試験）を行っています。



テュフ ラインランド ジャパンは、横浜、大阪、福岡にラボラトリーを開設しています。
校正・整備の行き届いた試験設備と豊富な実績による確かな技術で、部品から大型製品まで試験を行っています。世界的に通用する証明書・テストレポートを発行します。

テュフ ラインランド テクノロジーセンター（GTAC）横浜

多種多様な試験とサービスを一ヵ所で提供できる大規模テクノロジーセンターです。最適にレイアウトされた20以上の試験設備で、お客様の製品を最短で市場に送り出すお手伝いをします。

太陽光発電評価センター（SEAC）横浜

結晶系モジュール、薄膜系モジュール両方の試験・評価を行っています。モジュールから部品、システムまで、トータルな評価が可能です。

関西テクノロジーセンター（KTAC）大阪

2012年にオープンしたテクノロジーセンターでは、高エネルギーデバイス評価が可能なバッテリー評価施設と、電気安全試験施設、太陽光発電評価設備があります。

九州EMCラボラトリー

直鞍産業振興センターADOX福岡のEMCサイトは、テュフ ラインランド ジャパンの任命サイトです。テュフ ラインランドは、ADOX福岡内にオフィスを持ち、EMC試験を行っています。

■ 電気製品安全ラボラトリー

機械（メカニカル）：
- 振動試験設備
- 複合環境（振動+温湿度）試験設備
- 機械ストレス試験設備（アクチュエーター）
- 衝撃試験設備（安全ガラス試験用弾丸射出器、ハンマー試験設備、IKテスト、他）

電気（エレクトリカル）：
- 製品安全試験設備（耐電圧、漏洩電流、絶縁抵抗、他）
- 温湿度環境試験設備（温湿度チェンバー）

部品（コンポーネント）：
- 部分放電試験設備
- 耐トラッキング試験設備
- グローワイヤ試験設備
- 熱衝撃試験設備
- 燃焼試験設備
- 塩水噴霧試験設備

音響・騒音：
- 音響無響室
- 騒音・振動解析設備
- 音圧試験用トルソー

レーザー：
- レーザーパワー・波長測定設備
- ランプおよびランプシステムの光生物学的安全性

IP（防塵・防水性）：
- IP試験設備　（IP1X～6X, IPX1～X9Kまで対応）

■ EMCラボラトリー
- 電波暗室（3m・10m）
- シールド室
- EMCパルステスト室

■ 通信機器ラボラトリー
- テレコム試験室
- ZigBee試験室
- Wi-Fi試験室
- *Bluetooth*試験室
- Wi-SUN試験室
- OpenADR試験室
- G3-PLC試験室（2014年7月開始予定）

■ 系統連系保護装置評価センター
- 系統模擬電源装置
- 太陽電池模擬電源装置
- LCR 負荷装置
- 計測装置

■ 太陽光発電ラボラトリー
- 屋外曝露試験設備
- モジュール試験設備例：
  ソーラシミュレータ、温度サイクル試験、インパルス電圧試験、
  機械的荷重試験、高温高湿試験、降ひょう試験
  光照射試験、絶縁耐圧試験、紫外線照射試験、等
- その他：太陽光発電コンポーネントの試験設備

■ バッテリー試験ラボラトリー
- 1次、2次電池性能測定、長期充放電プログラム試験設備
- 1次、2次電池安全性試験設備（耐爆チャンバ内に機械、電気、環境試験装置各種を設置）

■ 放射性物質含有分析ラボラトリー
- ゲルマニウム検出器
- ガンマ線スペクトル分析装置

試験設備

ラボラトリー認定

テュフ ラインランド ジャパンのテクノロジーセンター、太陽光発電評価センター、関西テクノロジーセンターは、世界各国の試験所認定機関から認定を受けています。

■ 電気製品安全ラボラトリー
- DAkkS（ドイツ技術審査認定機関）
- CBTL（CB試験所）
- NATA（オーストラリア試験所認定機関）
- JNLA（日本JIS法に基づく試験所登録制度）
- 電気用品安全法に基づく登録検査機関（日本・経済産業省）
- NRTL（米国OSHA労働安全衛生局）

■ 通信機器ラボラトリー
- DAkkS（ドイツ技術審査認定機関）※欧州、オーストラリア、マレーシア、香港
- FCC（米国連邦通信委員会）-TCB（米国電器通信証明機関）
- Industry Canada（カナダ産業省）
- Telecom New Zealand（ニュージーランド）
- 電気通信事業法登録認定機関（有線）（日本・総務省）
- 電波法登録証明機関（無線）（日本・総務省）
- 各国通信規制に基づく認定

■ EMCラボラトリー
- VCCI（情報処理装置等電波障害自主規制協議会）
- FCC（米国連邦通信委員会）
- Industry Canada（カナダ産業省）
- VLAC（電磁環境試験所認定センター）
- CBTL（CB試験所）
- 電気用品安全法に基づく登録検査機関（日本・経済産業省）

■ 太陽光発電ラボラトリー
- DAkkS（ドイツ技術審査認定機関）
- JNLA（日本JIS法に基づく試験所登録制度）
- ASNITE（日本・独立行政法人製品評価技術基盤機構 認定センター）

■ バッテリーラボラトリー
- DAkkS（ドイツ技術審査認定機関）

付加価値サービス

品質管理サービス

効率のよい品質管理プロセスの構築は、ビジネスの成功には不可欠です。テュフ ラインランドは、内部工程・管理・教育について評価し、適正な生産体制を実現します。
品質管理サービスでは、契約以前のパートナー企業の品質管理評価、工場の品質管理評価（量産中および前後）を、サプライヤ選択においては、リスク評価と製造工程評価を行います。

メリット：

- アジアを中心に、世界各国で信頼できるパートナー探しが可能
- 製品リコールを回避して、時間と費用を節約
- スムーズな生産を実現
- 要求される仕様の品質を確保

工場評価（FA）

工場組織、倉庫状況、生産ライン、労働者の能力を調査して、その生産設備が特定の期間内に規定の品質レベルで生産可能かどうかを評価します。

初回生産検査（IPC）

初回生産開始前に、原料や部品の保管状況を点検し、遅れや手直しによる損害を防ぎます。

製造工程検査（DUPRO）

最終製品が所定の規格に適合するよう、専門の検査官が現地工場で製造工程を視察し、主要な製造段階における修正や改善事項を指摘しアドバイスします。

抜き取り検査（FRI）

製品の生産・梱包後、サンプルをランダムに抜き取り、出荷品が発注者の要求事項に適合しているか、現地工場またはテュフ ラインランドの試験所でAQL基準に基づき、製品検査をします。

積載管理（LS）

購入品が適切に取り扱われているか、また積み込み作業および各コンテナの状態が要求に適合しているかどうかを現地で確認します。

テュフ認定アドバイザー（TAA）制度

テュフ認定アドバイザー（TAA、旧TAEIT）制度とは、テュフ ラインランド ジャパンが、メーカーの技術者を対象に、特定（産業用装置・設備）の規格・装置に対し的確かつ客観的な判断と評価ができると認めた技術者の方を認定し、資格を与える制度です。
この制度は2003年4月より導入され、これまでに認定された技術者は、装置の安全設計・製品安全審査などの分野でその知識を活かして活躍されています。また、認定者には証明書が発行されると同時に、テュフ ラインランドのオンラインサービスCertipediaのID番号が付与され、個人認定者として登録されます。テュフ ラインランド ジャパンは、同様に技術者育成を目的とした日本のセーフティアセッサ認定制度に協力しており、その最上位資格であるセーフティリードアセッサ（SLA）とテュフ認定アドバイザーの実技・筆記試験は同内容であり、テュフ ラインランド ジャパンで同日に開催されます。

テュフ認定アドバイザー（TAA）制度のメリット

製品の基本的安全性を考慮した装置設計・規格適合のためのノウハウを得ることは、国内外を問わず製品競争力の強化につながります。テュフ認定アドバイザーが製品の設計段階から介在することにより、装置の安全規格に対する適合を合理的かつスムーズに行うことができます。テュフ認定アドバイザーが特定の範囲内で実機を試験・評価してレポートを作成し、テュフ ラインランド ジャパンは、そのレポートを含めた書類を基にCEマーキングのための適合証明書を発行します。
評価業務の簡素化および認証費用のコストダウン、また、出荷までの納期を短縮することが可能になります。

機能安全エンジニア資格コース（IEC 61508、ISO 26262）

テュフ ラインランドの機能安全エンジニア（Functional Safety Engineer）資格は、世界中で認められた、機能安全業務に関わる方の能力を証明する資格です。
機能安全規格に対応するためには、製品の開発初期段階から規格要求に沿った開発が必要となります。この機能安全エンジニア資格コースはこれらの内容を演習問題も交えながら解説することにより、実践的なポイントも含めて理解いただけるコースです。
また、機能安全規格には開発プロセスに関する要求事項があり、その中で開発プロジェクトに関わる人員の適性能力（機能安全開発の遂行能力）を立証する必要があります。当コースの受講者は、機能安全エンジニアの資格を取得することで、その職務を逐行できる能力が証明されます。
テュフ ラインランド ジャパンでは、この国際的な資格コースを日本語で開催しています。

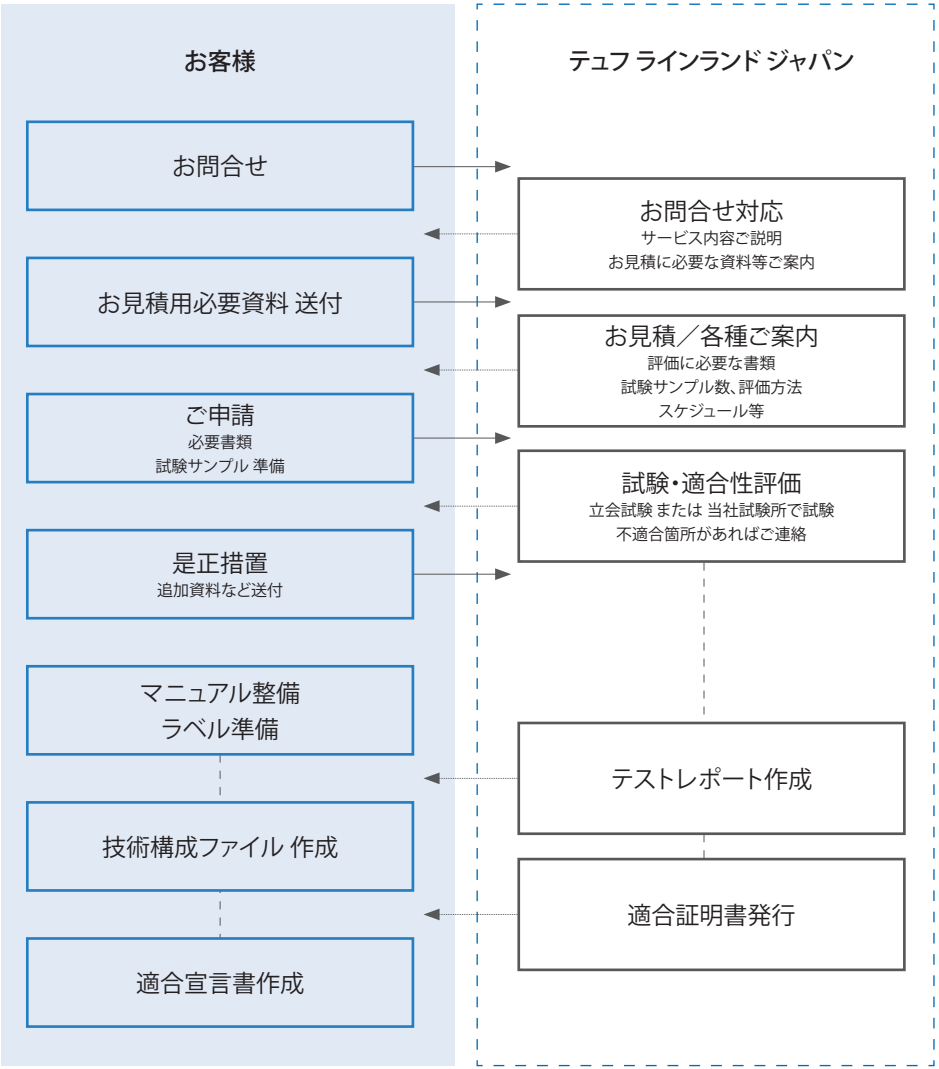
➡ 機能安全評価・認証サービスのページ (P.35) もご覧ください。

付加価値サービス

資 料

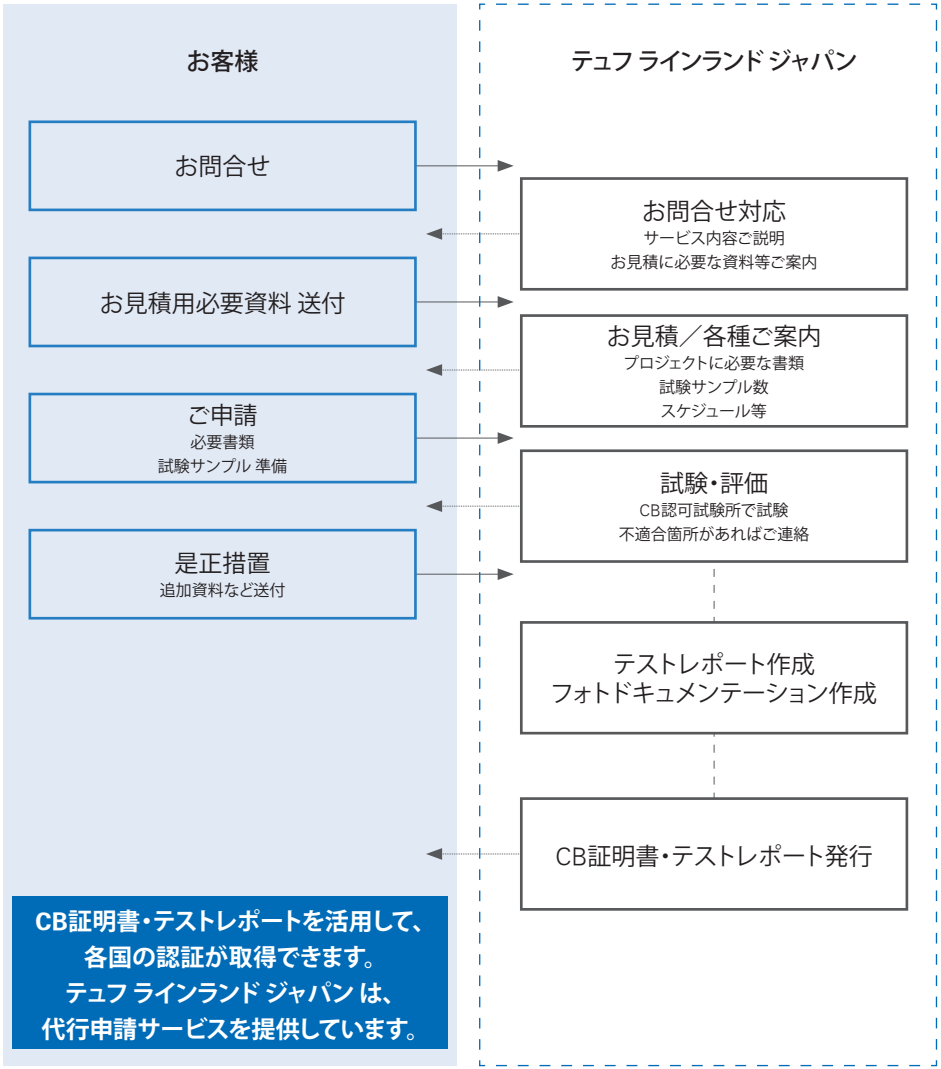
サービスの流れ
製品安全関連の証明書・ライセンス
ライセンス年間維持費用
テュフ ラインランド ジャパンの歩み
組織図
お問合わせ先・オフィスのご案内

EU指令 適合性評価の流れ



※ 適用する指令によって、上記の手順と異なる場合があります。
お問合せは info@jpn.tuv.com または最寄のテュフ ラインランド ジャパンにお電話ください。申請書は、テュフ ラインランド ジャパンのウェブサイトからダウンロードできます。
http://www.tuv.com/jp/downloads.html

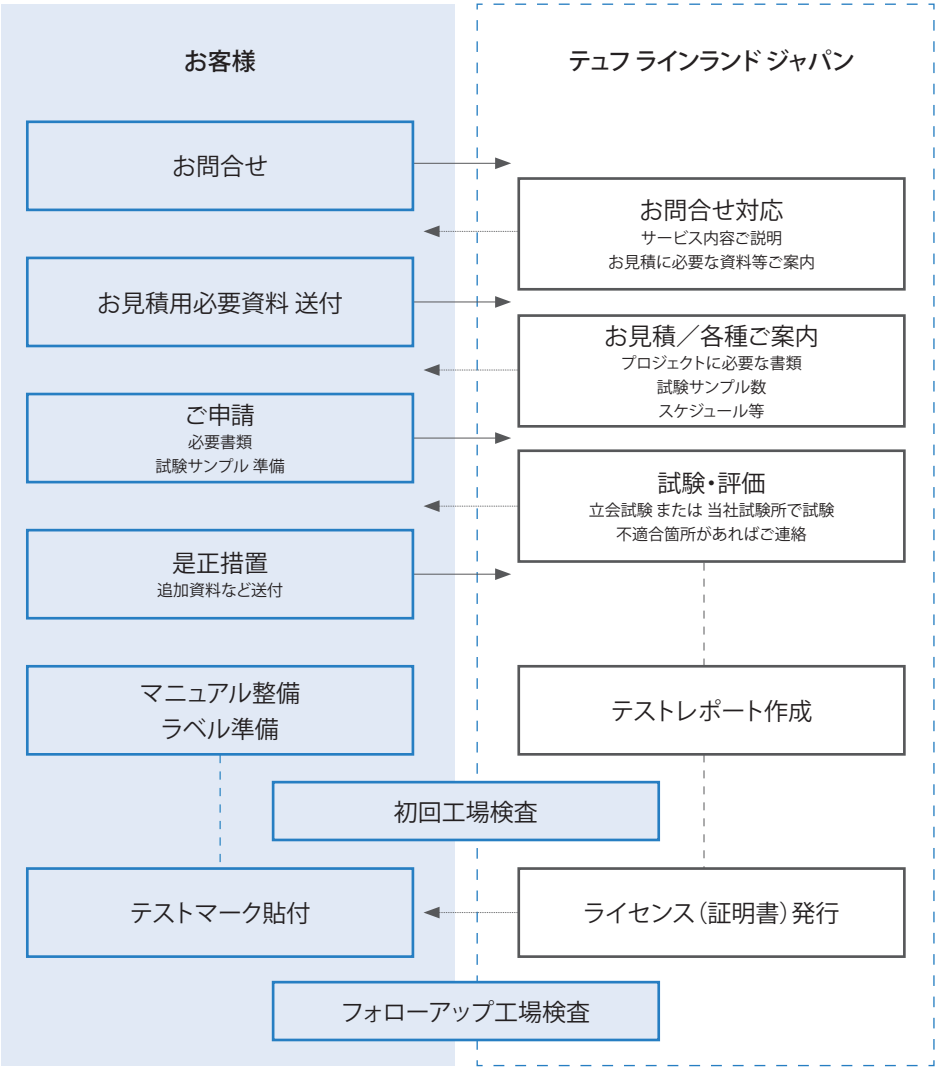
CB証明の流れ



お問合せは info@jpn.tuv.com または最寄のテュフ ラインランド ジャパンにお電話ください。申請書は、テュフ ラインランド ジャパンのウェブサイトからダウンロードできます。
http://www.tuv.com/jp/downloads.html

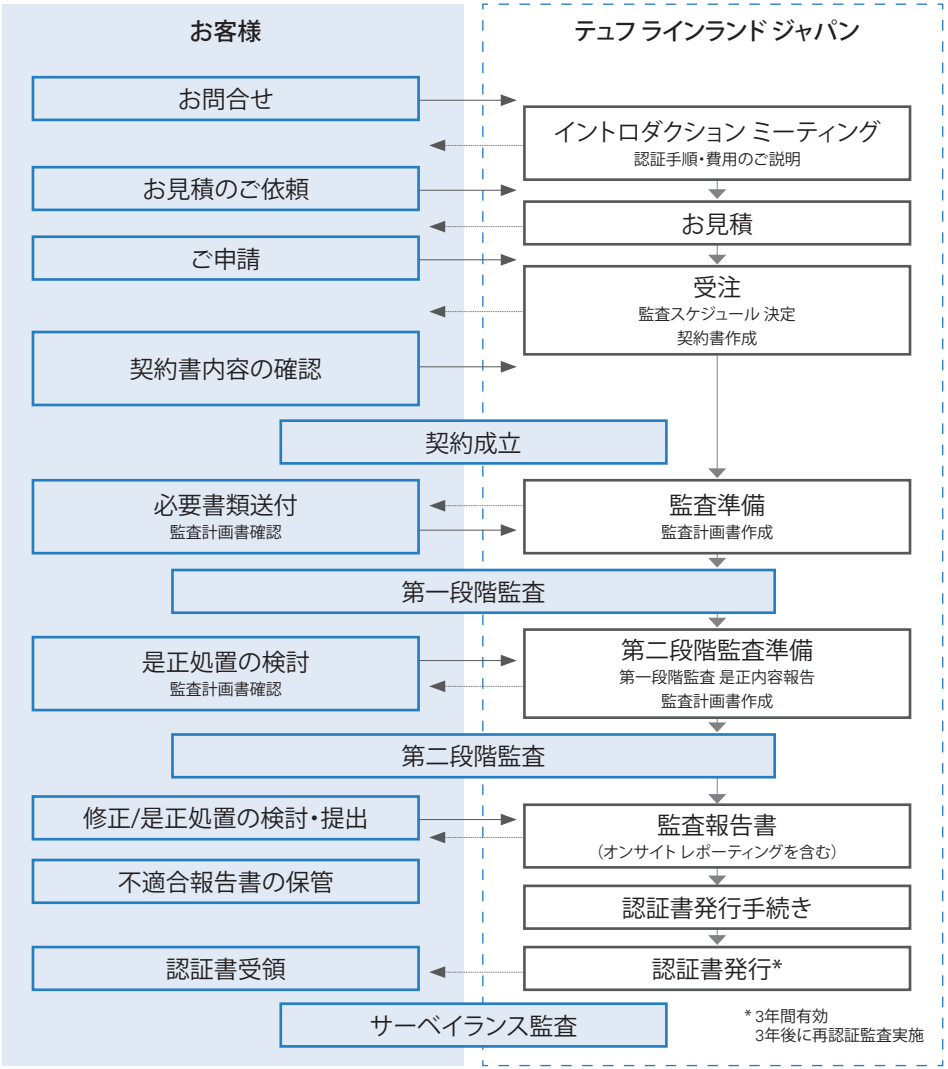
資料

テュフ ラインランド 製品認証の流れ（GS マーク など）



※ マークの種類によって、上記の手順と異なる場合があります。
お問合せは info@jpn.tuv.com または最寄のテュフ ラインランド ジャパンにお電話ください。申請書は、テュフ ラインランド ジャパンのウェブサイトからダウンロードできます。
http://www.tuv.com/jp/downloads.html

マネジメントシステム認証の流れ



お問合せは info@jpn.tuv.com または最寄のテュフ ラインランド ジャパンにお電話ください。見積依頼書は、テュフ ラインランド ジャパンのウェブサイトからダウンロードできます。
http://www.tuv.com/jp/downloads.html

製品安全関連の証明書・ライセンス

製品安全関連の証明書

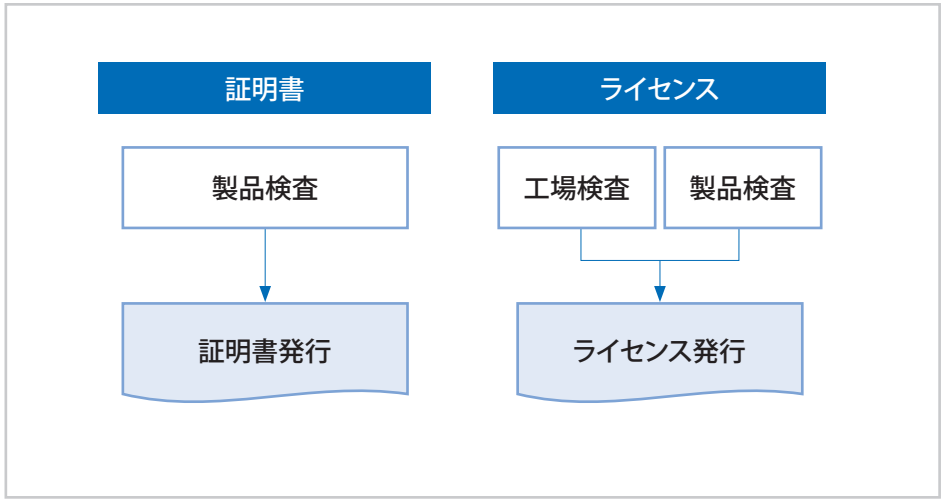
適合証明書、CB証明書など

試験を行った製品（テストサンプル）自体の適用規格への適合性を証明するものです。製品試験のみが行われ、工場検査はありません。

製品安全関連のライセンス

GSマークライセンス、TÜV-Bauartライセンスなどのライセンス

認証の際には、製品（テストサンプル）とその製品を量産するすべての製造工場の品質管理体制が検査されます。ライセンス取得後も定期的（通常年1回）に製造工場の検査が実施され、認証を受けた製品が、その量産過程においても仕様どおりに生産されていることを確認します。
ライセンスは、製品（テストサンプル）試験と工場検査に合格した製品に与えられるものです。



ライセンス年間維持費用

ライセンス年間維持費用とは

ライセンスの発行後には、ライセンス年間維持費用が発生します。これは、ライセンスを継続保持する間、毎年発生する費用で、認証マーク使用料、工場登録料、工場検査費用で構成されています。

認証マーク使用料

テュフ ラインランドの認証マーク（GSマークなど）の使用権利料です。
認証マーク使用料は、ライセンス上に記載されているユニット数を基に計算されます。
ユニット数は、製品の難易度により定義された製品のレベルおよび対価単位のことで、製品の種類ごとに細かく規定されています。費用は1ユニットあたり9,000円（税別）（※）です。
※例：GSマーク、TÜV-Bauartライセンスの場合

工場登録料

工場年間登録料は、ライセンスの保有数に関係なく1ライセンス保有者あたり1工場54,000円（税別）（※）です。
※例：GSマーク、TÜV-Bauartライセンスの場合

工場検査費用

ライセンス発行前に実施される初回工場検査、ライセンスが継続保持されている間に実施されるフォローアップ工場検査の費用です。テュフ ラインランドでマネジメントシステムの認証書を取得している場合、その監査と同時に行い、時間・費用を軽減することが可能です。

テュフ ラインランド ジャパンの歩み

1978 日本駐在員事務所を開設
圧力機器検査サービスを開始

1983 ラインランド技術検査協会ジャパン株式会社（TÜV Rheinland Japan Ltd.）として法人化（南青山オフィス）
電気・電子機器全般のサービスを開始

1986 代表取締役社長にラルフ・ヴィルデ就任

1988 事業開始10周年
製品安全に関する技術内容のニュースレター発行を開始

1989 現在使用されているロゴ（三角ロゴ）を適用

1992 ラインランド技検株式会社に社名変更
大阪にオフィスを開設、横浜、大阪にラボラトリーを開設
ISO認証サービス開始

1993 オフィスを新横浜に移転
新横浜にFEMACビジネスセンター開設
ISO 9001オリエンテーションコース内部監査員トレーニングをスタート

1994 テュフ ラインランド TRPS、CBスキームに参加
ドイツ・ケルン本社より正式認可を受けた認証書により、ISO 14001 監査サービスをスタート

1995 社員数100人を超える
システム認証部を開設
テュフ ラインランド独自の日本向けSマーク発行

1996 福岡にオフィスを開設

1997 TÜV Berlin-Brandenburgと合併
新名称はテュフ ラインランド ベルリン ブランデンブルグ
正式認可を受けた日本オフィスのISO 9001・14001認証書発行を開始

1998 CBスキームより、NCB（国内認証機関）とCBTL（2ヵ所）の認定を受ける

テュフ ラインランド ジャパンの歩み

2000 テュフ ラインランド ジャパン株式会社に社名変更

2001 テュフ ラインランド グループのCB証明書発行件数が世界一に
経済産業省から電気用品安全法の認定検査機関の認定を受ける
TUVdotCOM（現Certipedia）サービス開始

2002 総務省より端末機器の登録認定機関として登録される

2003 事業開始25周年
総務省より無線設備の登録証明機関として登録される

2005 テクノロジーセンター（GTAC）開設
日本における ドイツ年を機に“TÜV Rheinland フォーラム”（ギャラリー）をオープン、横浜市への公園遊具寄付、ベルリンの壁設置など、メセナ活動を積極的に展開

2006 国際グローバル・コンパクトへテュフ ラインランド グループが参加

2007 テクノロジーセンターにEMCチェンバー・太陽電池モジュールラボラトリーを設置

2008 事業開始30周年

2009 太陽光発電評価センター（SEAC）開設

2010 テュフ ラインランド ジャパン 代表取締役社長 兼 最高経営責任者にミヒャエル・ユングニッチュ就任
九州EMCラボラトリー開設

2011 テュフ ラインランド グループ組織刷新
テュフ ラインランド ジャパンのCB証明書発行数が、NCBとして初めて年間1万件突破

2012 テクノロジーセンターに系統連系保護装置評価センターを設置
関西テクノロジーセンター（KTAC）開設

2013 テュフ ラインランドの認証マークが新しいデザインに変わる

2014 テュフ ラインランド ジャパン 代表取締役社長 兼 最高経営責任者にホルガー・クンツ就任

資料

組織図 - テュフ ラインランド ジャパン

- 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 President & CEO
  - 諮問委員会 Advisory Board
- 品質管理・コンプライアンス　官庁・産業界対応
- 戦略・ビジネスデベロップメント部門 Strategy & Business Development
- 営業部門 Sales
  - 営業統括 カスタマーサービスセンター　カスタマーボイス
- マーケティング部門 Marketing
  - マーケティング　広報　Certipedia
- 技術部門 Technical
  - 産業サービス部 Industrial Services
    - 圧力機器・産業設備技術 電気エンジニアリング・建築技術 エネルギー・環境技術
      - 放射性物質含有分析ラボラトリー
  - 運輸・交通部 Mobility
    - 車両技術・型式認証 バッテリー試験ラボラトリー(KTAC) 鉄道技術・認証
  - 製品部 Products
    - ソフトライン 電気製品 産業機器 医療機器 太陽光発電 食品安全 リテール
      - マーケットアクセスサービス 電気製品安全横浜ラボラトリー 電気製品安全大阪ラボラトリー EMCラボラトリー 通信機器ラボラトリー
      - 系統連系保護装置評価センター
      - 太陽光発電ラボラトリー (GTAC/SEAC/KTAC)
  - システム部 Systems
    - マネジメントシステム認証（ISO 9001, 14001等） カスタマイズサービス（第二者監査）
  - 認証部 Certification
    - 認証統轄 工場検査
  - 試験品質管理課 Laboratories Quality Management
- 財務部門 Finance
  - 財務　経理　経営情報システム　原価計算
- 総務部門 Administration
  - ITサービス　総務　購買　法務　フリーエージェント FEMACビジネスセンター
- 人事部門 Human Resources
  - 人材開発　組織開発　人材マネジメント

組織図 - テュフ ラインランド グループ

- TÜV Rheinland Berlin Brandenburg Pfalz e.V.
  - 100 % shareholder
- TÜV Rheinland AG
  - TÜV Rheinland Industrie Service GmbH
  - TÜV Rheinland Kraftfahrt GmbH
  - TÜV Rheinland LGA Products GmbH
  - TÜV Rheinland Leben und Gesundheit GmbH
  - TÜV Rheinland Akademie GmbH
  - TÜV Rheinland Systeme GmbH
  - TÜV International GmbH
    - Western Europe
    - Central Eastern Europe
    - Asia-Pacific
    - Greater China
    - India / Middle East / Africa
    - North America
    - South America
  - TÜV Rheinland Pension Fund GmbH
  - TÜV Rheinland Immobilien GmbH & Co. KG
  - Further Associated Companies

お問合わせ先・オフィスのご案内

カスタマーサービスセンター

東日本地域　TEL：045-470-1850
西日本地域　TEL：06-6355-5400
E-mail：info@jpn.tuv.com
または最寄のテュフ ラインランド ジャパンのオフィスまでお電話ください。

オフィスのご案内

新横浜本社
〒222-0033　横浜市港北区新横浜3-19-5 新横浜第二センタービル
TEL:045-470-1860　FAX:045-473-5221

テクノロジーセンター（GTAC）
〒224-0021　横浜市都筑区北山田4-25-2
TEL:045-914-3888　FAX:045-914-3377

太陽光発電評価センター（SEAC）
〒224-0033　横浜市都筑区茅ヶ崎東4-5-24
TEL:045-271-3508　FAX:045-271-3525

西日本地域担当オフィス
〒530-0044　大阪市北区東天満2-9-1 若杉センタービル本館16F
TEL:06-6355-5777　FAX:06-6354-8636

関西テクノロジーセンター（KTAC）
〒537-0002　大阪市東成区深江南1-3-14
TEL:06-7656-6888　FAX:06-7668-5777

九州オフィス
〒814-0001　福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセンタービル10F 1001号
TEL:092-845-5431　FAX:092-845-5310

九州EMCラボラトリー
〒822-0031　福岡県直方市大字植木1245-2 直鞍産業振興センター ADOX福岡内
TEL:0949-28-9345　FAX:0949-28-9346

オンラインニュース、tuv.communication（オンライン・マガジン）では、各種規制や要求事項、当社の認定に関する最新情報をお知らせしています。
オンラインニュース（随時）：http://www.tuv.com/jp/press.html
tuv.communication（月刊）：http://www.tuv.com/jp/tuv_communication.html

左　：新横浜本社
中上：テクノロジーセンター（GTAC）
中下：関西テクノロジーセンター（KTAC）
右上：西日本地域担当オフィス
右下：太陽光発電評価センター（SEAC）

本冊子の情報は2014年6月時点のものです。

copyright © 2014TÜV Rheinland Japan Ltd.　All rights reserved.

® TÜV, TUEV and TUV are registered trademarks.
Any use or application requires prior approval.
CBSB001jaJP14064.0

www.jpn.tuv.com